

保健衛生事業の概要

令和4年度実施

(令和5年度版)

四日市市

目 次

第1章 総説

1. 概 要	P. 1
2. 沿 革	P. 1
3. 人 口	P. 2
4. 保健所の組織及び事務分掌	P. 3～

第2章 事業の実績

I. 健康づくり課	P. 5～
II. 新型コロナワクチン対策室	P. 26
III. 保健企画課	P. 27～
IV. 保健予防課	P. 42～
V. 衛生指導課	P. 67～
VI. 食品衛生検査所	P. 79～
VII. こども保健福祉課	P. 83～
VIII. 保健所内	P. 103～

第1章 総説

1. 概要

四日市市は三重県の東北部に位置し、西は鈴鹿連峰、東は伊勢湾に面して北勢の中心を占めている。面積は、206.52k㎡。

平成19年10月21日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認された。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬務、生活衛生などの、より専門的な業務を担当することとなった。それにより医療・福祉・教育などと連携した総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かい保健衛生サービスが可能になった。

2. 沿革

年 月 日	事 項
	【主な経緯】
平成 17 年 2 月 7 日	楠町との合併により、中核市要件を満たす。
平成 18 年 11 月 22 日	市長が20年4月の保健所政令市移行を目指すことを表明。
平成 19 年 10 月 21 日	政令公布 保健所政令市の指定に関する政令が公布され、保健所の設置が承認。
平成 20 年 4 月 1 日	保健所政令市移行に伴う機構改革により健康部が創設され保健所業務を所管する。
平成 21 年 9 月 24 日	保健所事務部門を県四日市庁舎より四日市市総合会館へ移設。 機構改革組織変更により、保健衛生検査室と食肉衛生検査所を統合し、保健所組織の食品衛生検査所とする。
平成 25 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、健康福祉部内に保健所を設置。母子保健についてはこども未来部の所管とする。
平成 26 年 4 月 1 日	四日市市食品衛生検査所新築に伴い、食肉衛生検査部門を県四日市庁舎より移転。

3. 人 口

1) 年次別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	世帯数 (戸)	人 口			人口密度 (1km ² あたり)	備 考
		総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)		
令和 4 年	144,556	310,113	156,002	154,111	1,502	
3 年	142,498	310,110	155,643	154,467	1,502	
2 年	141,768	311,716	156,413	155,303	1,510	
元年	139,718	311,470	156,038	155,432	1,509	
平成 30 年	138,279	312,258	156,252	156,006	1,513	

2) 年齢階層別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	人口総数 (人)	年少人口※1		生産年齢人口※2		老年人口※3	
		実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)
令和 4 年	310,113	37,491	12.1	191,656	61.8	80,966	26.1
3 年	310,110	38,255	12.3	190,994	61.6	80,861	26.1
2 年	311,716	38,997	12.5	192,190	61.7	80,529	25.8

※1 年少人口 0～14 歳 ※2 生産年齢人口 15～64 歳 ※3 老年人口 65 歳以上

[年少・老年・従属人口指数及び老年化指数] 令和 4 年 10 月 1 日現在 () 令和 3 年

・年少人口指数	19.6 (20.0)	・老年人口指数	42.2 (42.3)
・従属人口指数	61.8 (62.4)	・老年化指数	216.0 (211.4)

年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100

老年化指数 = 老年人口 ÷ 年少人口 × 100

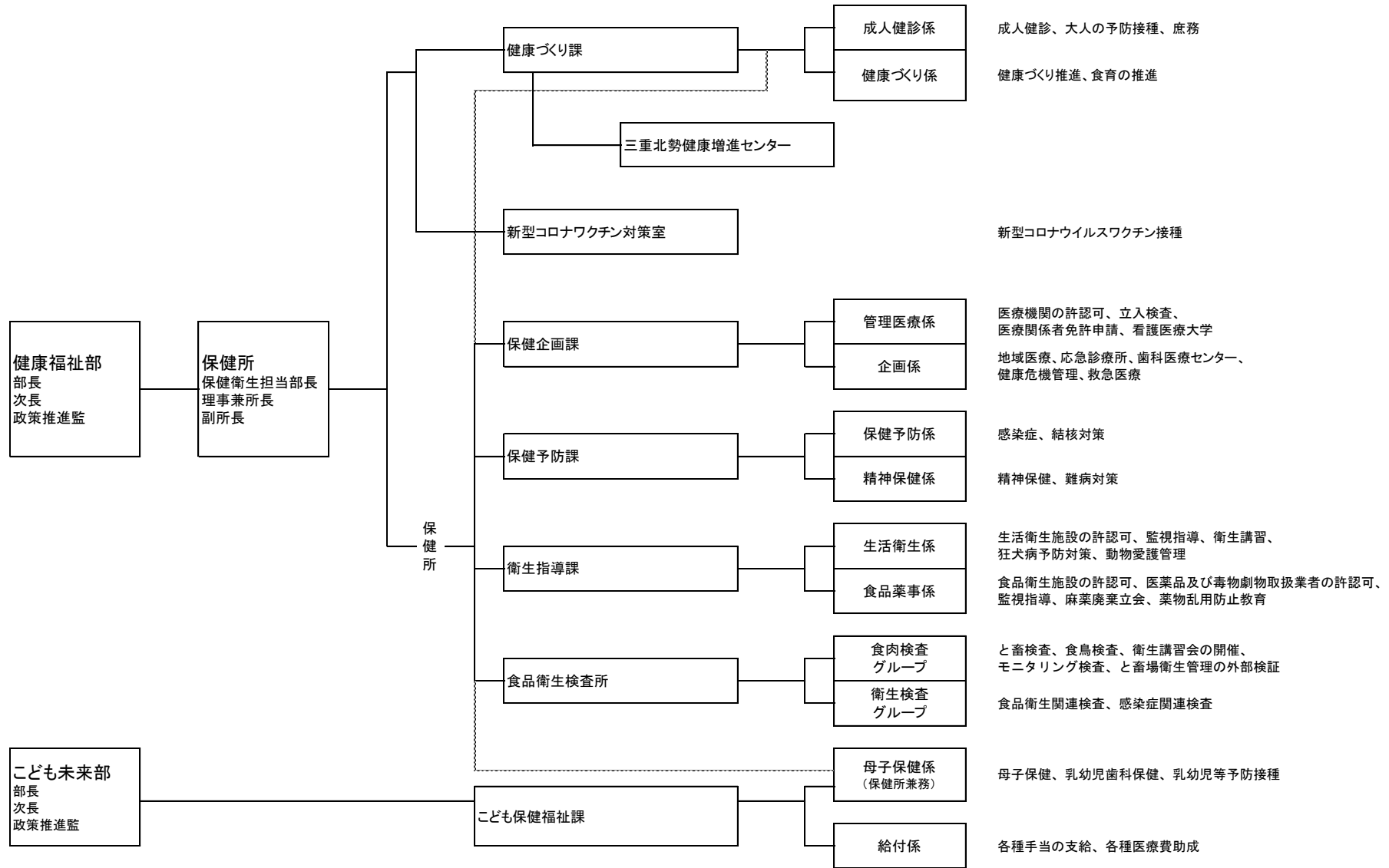
4. 保健所の組織及び事務分掌

職員配置(令和5年4月1日現在)

	医師	歯科医師	獣医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	臨床検査技師	診療放射線技師	その他の職種	事務職 (フルタイム)	再任用	合計
健康福祉部																	
部長															1		1
保健衛生担当部長					1												1
理事、保健所長	1																1
次長、社会福祉事務所長、こども未来部次長															1		1
保健所副所長															1		1
参事															2		2
政策推進監															1		1
健康づくり課	課長														1		1
	副参事、課長補佐					1											1
	成人健診係					3(1)		(1)							2		5(2)
	健康づくり係					5					3				(1)		8
クチ新 チン型 ンコ 対ロ 策ナ 室ワ	室長														1		1
	副参事					(1)	(1)								1	(1)	1(2)
	室員														5		5
健康福祉部保健所																	
保健衛生担当部長					(1)												(1)
理事兼所長	(1)																(1)
副所長															(1)		(1)
保健企画課	課長														1		1
	副参事、課長補佐、管理医療係長														1		1
	管理医療係					1									1(1)		2(1)
保健予防課	企画係														4		4
	課長					1											1
	課長補佐、精神保健係長														1		1
	課長補佐、保健予防係長														1		1
衛生指導課	保健予防係					6									4(1)		10(1)
	精神保健係					5									5(1)	1	11(1)
	課長(保健所副所長兼務)														(1)		(1)
食品衛生検査所	副参事、課長補佐				2												2
	生活衛生係			2											2		4
	食品薬事係			1	5										1		7
衛生検査グループ	所長			1													1
	副所長			1												(1)	1
	食肉検査グループ			13(1)											1	(1)	14(1)
	衛生検査グループ											6			1	(1)	7
こども未来部																	
部長															1		1
次長、保育幼稚園課長															1		1
次長、健康福祉部次長														(1)			(1)
政策推進監															1		1
こども保健課	課長														1		1
	副参事、課長補佐					1											1
	給付係														10	1	11
母子保健係					15	1	1			1(3)					(3)		18(3)

()内の数字は再計

〈令和5年度〉



第2章 事業の実績

I. 健康づくり課

1. 成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるために健康手帳を交付した。

交付者数（人）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
40歳～74歳	198	287	194
75歳以上	143	137	84
合計	341	424	278

平成30年度以降、厚生労働省のホームページから直接ダウンロードでの交付を併用

(2) 健康相談事業

健康相談を行い、市民の健康保持増進を図った。

実施状況 40～64歳【（ ）内は20～39歳】

	実施回数	相談延べ実施人数		
		令和4年度	令和3年度	令和2年度
あさけプラザでの相談	週2回	6 (0)	6 (0)	2 (0)
健康づくり課等での相談 (来所)	随時	8 (0)	0 (0)	1 (0)
電話による健康相談	随時	24 (1)	20 (3)	20 (1)
依頼による相談	随時	3 (3)	0 (0)	0 (0)
健康教育と併設	随時	1 (0)	0 (0)	0 (0)
合計		42 (4)	26 (3)	23 (1)

65歳以上は、3) 介護予防事業の(1)健康相談に計上

(3) 検診等

疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につなげるため、各種検診を実施した。

検診受診状況

区分	年度		40歳以上				40歳未満			
			対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2			受診率 (%) ※3	受診者数(人)		
				地区 巡回	医療 機関	合計		地区 巡回	医療 機関	合計
胃がん検診	令和4年度	バリウム	80,105	1,680	4,213	5,893	9.4	0	0	
		内視鏡			5,028	5,028				
		合計		1,680	9,241	10,921				
	令和3年度	バリウム	78,823	1,740	3,317	5,057	7.3	0	0	
		内視鏡			9,939	9,939				
		合計		1,740	13,256	14,996				
	令和2年度	バリウム	76,804	0	0	0	6.9	0	0	
		内視鏡			0	0				
		合計		0	0	0				
乳がん検診	令和4年度	マンモグラフィ	59,846	2,928	4,441	7,369	17.9			
		エコー		425		425		282	282	
	令和3年度	マンモグラフィ	60,245	3,278	4,490	7,768	17.5			
		エコー		475		475		316	316	
	令和2年度	マンモグラフィ	61,066	3,095	3,785	6,880	17.8			
		エコー		256		256		337	337	
肺がん・結核検診	令和4年度		123,059	2,881	11,715	14,596	5.2	0	0	
	令和3年度		123,503	2,907	11,637	14,544	5.3	0	0	

	令和2年度	124,466	4,560	8,369	12,929	4.3	0		0
大腸がん検診	令和4年度	123,059	2,845	15,256	18,101	6.5			
	令和3年度	123,503	2,929	15,465	18,394	6.8			
	令和2年度	124,466	2,758	12,366	15,124	5.6			

検診受診状況

区分	年度	20歳以上の女性					
		対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2				受診率(%) (20~69歳) ※3
			地区 巡回	医療 機関	妊婦健診 での受診者	合計	
子宮頸がん検診	令和4年度	91,437	1,796	8,741	2,092	12,629	18.3
	令和3年度	92,138	2,082	8,411	2,155	12,648	17.4
	令和2年度	93,445	1,919	6,866	2,136	10,921	17.4
HPV 検査	令和4年度		71	919	347	1,337	
	令和3年度		112	849	385	1,346	
	令和2年度		108	818	414	1,340	

※1 対象者数は、40～69歳(ただし、胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)を計上。

※2 受診者数は、40歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上)を計上。

※3 受診率は、下記計算式にて算出。

(胃がん検診受診率算出方法)

= (「前年度受診者数(バリウム+内視鏡)」+「当該年度受診者数(バリウム+内視鏡)」-「2年連続受診者数(バリウム+内視鏡)」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

(乳がん検診・子宮頸がん検診の受診率算定方法)

= (「前年度受診者数」+「当該年度受診者数」-「2年連続受診者数」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

受診率は、※1を分母とし、※2のうち、40～69歳(胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)の者を抽出し算出。

検診受診状況（医療機関にて実施）

区分	年 度	受診者数（人）
		計
検査 肝炎 ウイルス	令和4年度	110
	令和3年度	104
	令和2年度	353

さわやか歯科検診（歯周病検診）受診状況

年 度	対象者数 （人）※	受診者数（人）							受診率 （％）
		20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	合計	
令和4年度	22,785	137	186	187	290	242	337	1,379	6.1
令和3年度	23,000	149	216	209	300	293	412	1,579	6.9
令和2年度	23,024	160	213	182	234	204	341	1,334	5.8

※20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の人口

（４）健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の40歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドロームの早期発見、予防改善のための健診及び保健指導を実施した。

健康増進法健康診査・保健指導受診状況

年 度	健康診査			保健指導							
	対象者数 （人）	受診者数 （人）	受診率 （％）	動機付け支援				積極的支援			
				対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （％）	対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （％）
令和4年度	2,855	490	17.2	23	初回面談 1	継続支援 2			13.0	17	
令和3年度	2,837	508	17.9	18	初回面談 2	継続支援 1	16.7	24	初回面談 2	継続支援 0	8.3
令和2年度	2,717	470	17.3	23	初回面談 1	継続支援 1	8.7	15	初回面談 0	継続支援 0	0

(5) 大人の風しん対策（風しん抗体検査・予防接種）

「先天性風しん症候群」の発症を防止するため、妊娠を希望している女性等を対象に風しん抗体検査及びワクチン公費助成（抗体価が低い人のみ）を行った。

また、今まで公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い男性（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）を対象に、風しんの追加的対策として抗体検査及び予防接種（抗体価が低い人のみ）を実施した。

受診・接種状況

		対象者	令和4年度 受診・接種者 数(人)	令和3年度 受診・接種者 数(人)	令和2年度 受診・接種者 数(人)
妊娠を 希望する 女性等へ の補助	抗体 検査	妊娠を予定又は希望している女性	140	163	190
		同居者	120	149	195
		風しん抗体価が低い妊婦の同居者	42	49	68
		合計	302	361	453
		風しんワクチン等接種公費助成	307	303	314
追加的 対策		抗体検査	1,371	3,326	7,232
		予防接種	355	774	1,521

(6) 大人の予防接種

① 高齢者インフルエンザ

インフルエンザの予防と重症化を防ぐために、高齢者に対してインフルエンザの予防接種を実施した。

接種状況

	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳 以上	80,966	46,555	57.5	80,861	47,301	58.5	80,529	56,922	70.7
60～64 歳	133	92	69.2	133	104	78.2	170	138	81.2

② 高齢者肺炎球菌ワクチン

高齢者の肺炎の予防と重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施した。

接種状況

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)
定期 接種	2,673	12	2,849	14	3,074	19
公費助成	53		71		162	

2) 健康づくり支援

(1) 健康教育

各種教室を実施し、健康増進、疾病予防を図った。

実施状況

教室	年度	回数 (回)	参加者数(人)			
			延人員	実人員	40歳以上	
					40歳以上	40歳未満
カラダスッキリ塾 (※1)	令和4年度	5	106	24	24	0
	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	5	104	24	24	0
青空教室(※2)	令和4年度	8	100	40	39	1
	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	2	64	64	64	0
保健事業指導者 支援事業(※1)	令和4年度	2	78	78	64	14
	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	2	81	81	69	12
乳がん予防 健康教育	令和4年度	59	3,635	3,635	3,353	282
	令和3年度	74	4,069	4,069	3,753	316
	令和2年度	81	3,688	3,688	3,432	256
出前講座(※3)	令和4年度	5	145	145	130	15
	令和3年度	1	27	27	7	20
	令和2年度	7	216	159	107	52
地区及び各種団体等 からの依頼	令和4年度	4	67	22	22	0
	令和3年度	2	25	25	25	0
	令和2年度	2	64	64	64	0
三重北勢健康増進 センター開催 健康づくり教室(※4)	令和4年度	86	472	149	149	0
	令和3年度	95	712	193	191	2
	令和2年度	143	757	237	237	0

(※1) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

(※2) 令和2年度から実施しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

(※3) 出前講座：令和元年度から「介護予防講座」メニューは高齢福祉課で実施。

(※4) 令和4年10月2日～令和5年2月28日 空調設備工事に伴い、屋内施設利用不可であったため、屋外での教室に振替えたが、教室開催数は減少

(2) 健康ボランティア開催による健康教育

健康ボランティアによる、地域での健康づくりの啓発や教室を開催した。

実施状況

参加者数 (人)

年 度	ステキ健康サポーターによる活動	食生活改善推進員による活動
令和4年度	25,475	11,950
令和3年度	22,388	8,830
令和2年度	23,678	8,054

ステキ健康サポーター：生活習慣病予防をすすめるボランティア

食生活改善推進員：食生活改善をすすめるボランティア

(3) 健康ボランティア養成

運動実践や食生活の改善など地域で健康づくりを推進するため、健康ボランティアを養成した。

実施状況

教室	年 度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40歳以上	
					40歳未満	40歳未満
ステキ健康サポーター 養成講座 (※1)	令和4年度	5	62	14	14	0
	令和3年度	1	6	6	6	0
	令和2年度	5	56	12	11	1
食生活改善推進員養成 事業(栄養教室) (※2)	令和4年度	7	109	17	16	1
	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	7	99	15	14	1

(※1) 令和3年度は、全5回中1回実施。2回目以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

(※2) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

(4) 働く世代の健康づくり支援事業

① 地域職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、働く世代の健康づくりに関する情報の共有や協働事業の実施等について協議する。

開 催 日	議 事
令和4年8月17日(木)	地域職域連携の推進について 令和4年度 健康づくり課事業の取り組みについて 保健予防課 四日市市におけるメンタルヘルス対策について
令和5年2月17日(金)	四日市市第3次保健医療推進プランについて 令和4年度 健康づくり課事業の取り組みについて (報告) 令和5年度 健康づくり課事業の取り組みについて (計画) 保健予防課 四日市市におけるメンタルヘルス対策について

② みんなの健康☆応援事業所登録事業

事業所の健康づくりを応援するため、登録事業所に対して毎月健康情報を配信し、事業所や従業員が健康づくりに取り組むきっかけを作った。

登録事業所数

(事業所)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録事業所数	170	167	146
健康情報を提供している事業所数	499	499	430

③ 企業対抗！四日市をARUKUンピック

働く世代の健康の維持増進及び健康習慣の定着をはかるとともに、参加する企業が健康経営に取り組む端緒となることを目的として、スマートフォンのアプリを活用した企業対抗型のウォーキングイベントを開催した。

参加状況

	令和4年度
参加事業所・団体数	27
参加チーム数	50
参加者数	310

(5) 啓発事業

市民が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう啓発活動を実施した。

① がん検診受診について

- ・検診手帳を市内の祭り、健康フェア、イベント、出前講座、事業所、市内高等学校、市内大学等に合計3,455部配布した。
- ・検診バックを市内の祭り、イベント、出前講座、事業所、市内高等学校、市内大学等に合計936個配布した。
- ・がん検診受診勧奨ポスターを作成し、四日市まつりで掲示した。

② 健康づくりについて

- ・健康づくりへの関心を高めるため、新たに健康情報冊子「ARUKU vol. 3」を作成。既存の健康情報冊子「ARUKU」「ARUKU vol. 2」については、地区市民センター、庁内窓口、企業、健康ボランティアなどを通じて配布を行った。

(冊)

冊子名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
ARUKU	3,090	7,697	9,071
ARUKU vol. 2	3,330	9,427	15,361

- ・街の中に「歩く」ことが浸透するように、「ARUKU」を基盤とした、啓発活動を実施

◆近鉄四日市駅改札外階段（3カ所）への健康づくり啓発階段標示の掲出

掲出期間：令和4年10月1日～10月31日

◆工事現場の仮囲等へのマグネット標示の設置（4カ所）

鶉の森公園内 2 か所、内部中学校前の工事現場仮囲い、本庁舎横ごみ倉庫外壁

◆ポスター掲示による啓発

掲示場所：市関連施設、国道 1 号線地下歩道橋、みんなの健康☆応援事業所、マイレージ
 得点協力店、商店街団体

- 健康づくりに取り組むきっかけの促進を図るため、「健康マイレージ事業」を実施。一定のポイントをため、応募があった人に協力店で特典が受けられる「三重とこわか健康応援カード」を交付した。

対象者：四日市市在住、在勤の 18 歳以上

交付者数 (人)

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
交付者数	864	759	1,006	1,072	270

- コロナ禍においても市民が、継続して楽しみながら運動を実施できるよう動画の配信や、運動の成果を記録で見える化することにより、運動習慣が身につくように促す「四日市を AR UKU マップ第 2 弾」を実施した。(令和 4 年 11 月～令和 5 年 2 月)

対象者：四日市市在住・在勤・在学する 18 歳以上の人

参加者数 (人)

	令和 4 年度	令和 3 年度 (令和 3 年 4 月～6 月)	令和 2 年度 (令和 3 年 1 月～3 月)
参加者数	809	663	745

- 市民の関心を高め、健康づくりの推進につなげるため、健康情報冊子「ARUKU」の動画版を市公式 YouTube チャンネルにて放映した。(令和 3 年 11 月 24 日～放映)

【視聴回数 (令和 5 年 3 月 31 日 時点)】

	令和 5 年 3 月 31 日時点	令和 4 年 3 月 31 日時点	令和 4 年度 年間視聴回数
市街地編	1,282	735	547
南部丘陵公園	1,227	648	579
垂坂公園・羽津山緑地編	1,736	727	1,009
中央緑地編	1,109	647	462
チェックパターンエクサ サイズ編	900	535	365

PR 編：本庁舎 1 階電子掲示板、本庁舎及び総合会館エレベーター前電子掲示板で放映

③ イベントにおける啓発活動

(ア)「日永梅林」復活秋祭り

日時：令和 4 年 11 月 20 日 (日) 9:30～12:00 ⇒ 雨天のため中止

場所：南部丘陵公園北ゾーン (泊山小学校西奥)

(イ)「日永梅林」復活梅まつり

日時：令和5年3月5日（日）9:30～12:00

場所：南部丘陵公園北ゾーン（泊山小学校西奥）

内容：ウォーキングラリー（南部丘陵公園北ゾーンの路面標示7か所の標示の一部を隠したクイズに答え、用紙を提出するとオリジナル缶バッジを進呈）

四日市健康マイレージ申込書、ARUKUの冊子の配布

参加者：199名（15分コース 119名、40分コース 80名）

(ウ) 四日市コンビナート夜景ランフェスティバル

日時：令和5年3月11日（土）11:30～14:15

場所：四日市ドーム

内容：がん検診手帳、四日市健康マイレージ、ARUKUの冊子をバッグに入れて配布

配布数：297セット（ARUKU啓発バッグ（布） 197セット、ARUKU啓発クリアバッグ 100セット）

④ 健康ボランティア（ステキ健康サポーターの会、ヘルスリーダーの会）スキルアップ講習会

日時：令和5年1月27日（金）13:30～15:00

場所：四日市総合体育館 多目的室

内容：血管年齢を若返らせる！ ～血管ケアの運動について～

講師：作業療法士 武田泰紀

参加者：ステキ健康サポーターの会 25名 ヘルスリーダーの会 22名 合計 47名

(6) 受動喫煙対策についての周知啓発及び相談

望まない受動喫煙が生じないように、ポスターやリーフレットの配布等による啓発や、市民・事業者からの受動喫煙に対する相談を行った。（健康増進法改正に伴い令和元年度から実施）

	受動喫煙についての相談件数
令和4年度	11
令和3年度	14
令和2年度	147

3) 介護予防事業 (おおむね65歳以上の方対象)

(1) 健康相談

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行った。

相談状況

(人)

年度	来所相談		依頼による 相談	電話相談 (ヘルシーダイヤル等)	健康教育 と併設	合計
	あさけプラザ	健康づくり課 窓口等				
令和4年度	1,703	154	27	62	8	1,954
令和3年度	1,013	119	0	58	0	1,190
令和2年度	1,234	95	0	75	0	1,404

(2) 訪問事業

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行った。

実施状況

(人)

年度	実人員			延人員		
	閉じこもり 予防	その他	計	閉じこもり 予防	その他	計
令和4年度	18	0	18	81	0	81
令和3年度	18	0	18	72	0	72
令和2年度	21	0	21	89	0	89

4) 栄養指導・食育推進ネットワーク事業

(1) 給食施設指導

健康増進法に基づき、特定多数の人に継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導や研修会を行った。

① 給食施設巡回指導

令和2年度・3年度・4年度の巡回指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県の動向等を踏まえ中止としたが、啓発資料等による情報提供を実施した。

実施状況

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
学校	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
病院	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
老人保健施設	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
児童福祉施設	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
老人福祉施設	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
社会福祉施設	特定給食施設指導数(※)	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
事業所	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
寄宿舍	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0

(※) 指導対象施設なし

② 給食施設研修会

実施状況

配信日時	利用者数 (人)	内 容
令和5年1月16日(月) ～30日(月)	91	YouTubeによるオンライン研修 講義：「給食施設における健康づくり ～減塩と野菜摂取量の向上～」 講師：名古屋文理大学 教授 後藤 千穂 氏
令和5年2月15日(水) ～28日(火)	33	三重県健康推進課提供のWEB研修により実施 講義：「ナッジを食行動や食生活支援に取り入れよう ～取組に活かすヒント～」 講師：女子栄養大学 准教授 林 芙美 氏

(2) 栄養成分表示等に関する相談

食品表示法第4条、第5条、健康増進法第65条第1項に基づき、食品の表示等に関する相談を行った。

実施状況

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
特定保健用食品	0	0	0
特別用途食品	0	0	0
食品表示基準 (又は栄養表示基準)	13	18	38
栄養機能食品	0	0	1
誇大表示の禁止	1	1	3
計	14	19	42

(3) 食育推進事業

食に関する取組みの充実に向け、庁内及び食育推進関係団体等がともに連携し、各種事業を行った。

① 四日市市食育推進会議

実施状況

開 催 日	議 事
第1回 10月7日(金)	1. 令和4年度の食育推進事業について 2. 第3次四日市市保健医療推進プランの策定について
第2回 2月27日(月)	1. 第3次四日市市保健医療推進プランの策定について 2. 令和4年度の食育推進事業について(報告)

② 啓発事業

実施状況

	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)	
		延人員	実人員		延人員	実人員		延人員	実人員
食育推進のための啓発事業	1	198	198	0	0	0	0	0	0
高校生・大学生のための食育教室	2	170	170	8	1,383	1,383	6	737	737
食育推進ポスター事業	応募数 1,057 作品			応募数 847 作品			応募数 775 作品		

そのほか、食育推進ポスターの入賞作品を用いて、野菜の摂取量向上の推進を目指した啓発活動を行った。

2. 三重北勢健康増進センター事業

1) 利用状況と推移(人)

区 分		令和4年度	令和3年度	令和2年度
プール	一般	9,316	8,172	11,838
	65歳以上	8,482	8,042	11,031
	中学生以下	5,680	4,776	5,123
	小計	23,478	20,990	27,992
トレーニングジム	一般	5,212	5,091	7,608
	65歳以上	6,392	6,510	8,121
	小計	11,604	11,601	15,729
軽運動室及びランニングトラック	一般	3,106	2,792	3,415
	中学生以下	323	434	406
	小計	3,429	3,226	3,821
グラウンドゴルフ場	一般	2,816	1,840	3,071
	中学生以下	23	37	28
	小計	2,839	1,877	3,099
計		41,350	37,694	50,641

健康づくり教室※	472	508	757
----------	-----	-----	-----

※ 健康教育の三重北勢健康増進センター開催健康づくり教室を再掲。

障害児等機能回復訓練	—	—	—
------------	---	---	---

※ こども未来部事業

運動施設専用使用	4,869	5,054	6,117
会議施設使用	3,922	36,184	4,307

※令和4年度会議施設使用人数のうち、新型コロナウイルスワクチン関係 1,601

利用者合計	50,141	78,932	61,065
-------	--------	--------	--------

3. 統計資料

1) 年齢別死因と死亡割合（令和3年）

※厚生労働省 人口動態

（全体）

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	自殺 (40.0)	自殺 (52.9)	自殺 (44.4)	悪性新生物 (25.6)	悪性新生物 (36.1)	悪性新生物 (48.0)	悪性新生物 (41.6)	悪性新生物 (43.1)	悪性新生物 (41.9)	老衰 (23.2)	悪性新生物 (27.6)
2位	心疾患 (20.0) 不慮の事故 (20.0)	不慮の事故 (17.7)	悪性新生物 (11.1) 心疾患 (11.1)	心疾患 (18.6)	心疾患 (9.8)	心疾患 (7.8) 脳血管疾患 (7.8)	心疾患 (10.7)	心疾患 (12.5)	心疾患 (14.1)	悪性新生物 (20.8)	老衰 (15.5)
3位		悪性新生物 (5.9) 心疾患 (5.9)		脳血管疾患 (9.3) 自殺 (9.3)	脳血管疾患 (6.6)		脳血管疾患 (7.4)	脳血管疾患 (8.4)	脳血管疾患 (8.7)	心疾患 (15.1)	心疾患 (14.1)

（男性）

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	心疾患 (25.0) 不慮の事故 (25.0) 自殺 (25.0)	自殺 (45.5)	自殺 (66.7)	悪性新生物 (22.2)	悪性新生物 (27.7)	悪性新生物 (46.5)	悪性新生物 (41.1)	悪性新生物 (45.1)	悪性新生物 (43.9)	悪性新生物 (25.2)	悪性新生物 (31.8)
2位		不慮の事故 (18.2)	心疾患 (16.7)	脳血管疾患 (14.8) 自殺 (14.8)	心疾患 (10.8)	脳血管疾患 (11.3)	心疾患 (12.1)	心疾患 (13.8)	心疾患 (14.2)	老衰 (16.3)	心疾患 (14.5)
3位		悪性新生物 (9.1) 心疾患 (9.1)			脳血管疾患 (8.4) 肝疾患 (8.4)	心疾患 (8.5)	脳血管疾患 (5.6)	脳血管疾患 (8.5)	脳血管疾患 (6.5)	心疾患 (15.9)	老衰 (9.5)

（女性）

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	自殺 (100.0)	自殺 (66.7)	悪性新生物 (33.3)	悪性新生物 (31.3) 心疾患 (31.3)	悪性新生物 (53.8)	悪性新生物 (51.6)	悪性新生物 (42.9)	悪性新生物 (37.9)	悪性新生物 (38.6)	老衰 (28.9)	悪性新生物 (22.7)
2位		不慮の事故 (16.7)	糖尿病 (16.7)		心疾患 (7.7)	心疾患 (6.5) 自殺 (6.5)	脳血管疾患 (11.9)	心疾患 (9.2)	心疾患 (13.8)	悪性新生物 (17.1)	老衰 (22.3)
3位				肝疾患 (6.3) 不慮の事故 (6.3)	糖尿病 (2.6) 脳血管疾患 (2.6) 不慮の事故 (2.6) 自殺 (2.6)		心疾患 (7.1)	脳血管疾患 (8.0)	脳血管疾患 (12.4)	心疾患 (14.4)	心疾患 (13.6)

2) 主要死因別の死亡数・死亡総数に対する割合（令和3年）

	死亡数(人)			死亡総数に対する割合(%)	
	令和3年	令和2年	差引増減 (令3-令2)	令和3年	令和2年
全死因	3,316	3,157	159	100.0	100.0
悪性新生物	914	827	87	27.6	26.2
心疾患	467	462	5	14.1	14.6
脳血管疾患	236	221	15	7.1	7.0
肺炎	135	132	3	4.1	4.2
不慮の事故	76	78	△ 2	2.3	2.5
慢性閉塞性肺疾患	25	22	3	0.8	0.7
老衰	514	495	19	15.5	15.7
腎不全	69	69	0	2.1	2.2
大動脈瘤及び解離	41	44	△ 3	1.2	1.4
肝疾患	39	34	5	1.2	1.1
糖尿病	29	30	△ 1	0.9	1.0
喘息	1	4	△ 3	0.0	0.1
高血圧疾患	28	21	7	0.8	0.7
結核	0	6	△ 6	0.0	0.2

3) 悪性新生物 部位別死亡割合（%）

（男性）

部位	H30年	R1年	R2年	R3年	全国
気管・気管支及び肺	26.1	28.6	25.2	24.6	23.9
胃	15.4	10.5	12.5	13.9	12.2
大腸	10.0	13.0	14.5	12.7	12.6
肝臓	8.4	7.1	5.5	5.2	7.2
その他	40.1	40.8	42.3	43.6	44.1

（女性）

部位	H30年	R1年	R2年	R3年	全国
大腸	14.6	14.2	18.9	18.1	15.3
気管・気管支及び肺	12.8	15.5	13.3	18.1	14.4
胃	12.8	6.2	10.6	9.6	9.1
肝臓	6.4	6.5	5.3	3.7	5.1
乳房	14.3	11.1	10.3	6.5	9.3
子宮	4.0	6.5	4.7	5.7	4.3
その他	35.1	39.9	36.9	38.3	42.5

4) 年齢別 悪性新生物部位別死亡 (全体)

部位	H30 全体						R1 全体						R2 全体						R3 全体						H30～R3 全体																		
	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	総数												
口唇・口腔及び咽頭	0	1	0	1	2	1	8	13	0			1	1	9	11	0	0	4	0	4	9	17	0	0	1	1	13	16	0	1	0	6	4	7	39	57							
食道	0	0	0	2	1	4	18	25	0			3	1	2	19	25	0	0	1	1	5	16	23	0	0	2	2	3	27	34	0	0	0	8	5	14	80	107					
胃	1	0	5	9	4	11	89	119	0			4	1	5	63	73	0	1	4	8	16	68	97	0	0	2	8	7	7	88	112	1	0	8	25	20	39	308	401				
結腸	0	0	2	4	3	5	51	65	0			1	5	3	10	60	79	0	0	1	3	6	84	96	0	0	1	3	4	8	83	99	0	1	3	15	13	29	278	339			
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	1	0	3	5	24	32	0			2	5	2	7	17	32	0	0	1	3	2	6	27	39	1	0	1	3	2	4	25	36	1	0	5	11	9	22	93	141		
肝及び肝内胆管	0	0	0	0	2	3	52	63	0			1	1	2	7	46	57	0	0	0	4	1	3	37	45	0	0	0	0	3	4	35	42	0	0	1	11	8	17	170	207		
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	1	0	3	30	34	0			1	1	3	28	32	0	0	1	3	1	2	29	36	0	0	0	0	2	0	4	43	0	0	1	4	4	8	128	145			
膵	1	1	1	4	1	6	49	63	0			2	3	4	11	69	89	0	0	0	4	3	10	52	69	0	0	3	7	6	3	62	81	1	0	6	18	14	30	232	302		
喉頭	0	0	0	0	1	1	2	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	8			
気管・気管支及び肺	0	1	2	7	3	18	142	173	0			1	6	4	23	161	195	0	0	3	4	9	13	139	168	0	0	0	6	7	16	173	202	0	1	6	23	23	70	615	738		
皮膚	0	0	0	0	0	0	4	4	0			0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	1	0	18	19		
乳房	0	0	2	11	3	4	26	47	0			4	6	2	5	19	36	0	0	1	8	1	4	21	35	0	0	0	4	3	1	15	23	0	1	7	29	9	14	81	141		
子宮	0	0	0	3	0	3	7	13	0			4	4	2	11	21	0	0	3	2	1	1	9	16	0	0	1	3	3	4	9	20	0	0	8	12	4	10	36	70			
卵巣	0	0	1	0	1	1	4	7	0			1	1	3	2	7	0	0	0	2	2	3	7	0	1	1	1	1	0	5	9	0	1	3	2	4	6	14	30				
前立腺	0	0	0	0	0	1	26	27	0			1	3	28	32	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	0	1	3	0	25	29	0	0	1	1	5	5	107	119				
膀胱	0	1	0	0	3	14	18	0			1	1	2	20	22	0	0	0	0	2	19	21	0	0	0	1	0	1	0	1	25	27	0	1	0	2	0	8	78	89			
中枢神経系	0	0	1	1	0	2	1	5	0			1	1	1	3	2	0	0	0	0	3	1	6	0	1	0	0	0	1	1	3	2	1	2	2	0	6	4	17				
悪性リンパ腫	0	0	1	1	0	4	31	37	0			2	2	20	22	0	0	1	0	3	26	30	0	0	1	0	2	1	36	40	0	0	2	2	4	8	113	129					
白血病	0	0	1	0	2	2	8	13	0			1	1	1	14	17	0	0	1	0	3	10	15	0	0	1	2	1	2	14	20	1	0	4	2	4	8	46	65				
その他のリンパ腫・造血細胞及び関連細胞	0	0	0	0	0	2	12	14	0			1	3	7	11	0	0	1	1	1	8	11	0	0	0	1	0	0	0	8	9	0	0	3	1	6	35	45					
その他	0	2	1	1	6	8	36	54	0			2	1	3	3	46	58	1	0	1	2	3	5	45	57	0	0	1	2	6	53	62	1	4	3	7	14	22	180	231			
総計	2	7	18	51	31	87	633	829	0			3	18	44	29	91	645	830	4	0	13	44	37	90	639	827	1	2	11	44	49	62	745	914	7	12	60	183	146	330	2,682	3,400	

(男性)

部位	H30 男性						R1 男性						R2 男性						R3 男性						H30～R3 男性																				
	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	29歳以下	30-39	40-49	50-59	60-64	70歳以上	総数														
口唇・口腔及び咽頭	0	0	0	0	2	1	6	9	0			0	0	1	1	6	8	0	0	2	2	5	9	0	0	1	1	1	7	10	0	0	0	3	4	5	24	36							
食道	0	0	0	2	1	4	16	23	0			0	0	3	1	2	16	22	0	0	1	1	5	15	22	0	0	0	2	2	3	23	30	0	0	8	5	14	70	97					
胃	0	0	4	6	2	7	58	77	0			0	0	4	1	4	44	53	0	0	1	3	6	10	41	61	0	0	1	5	5	5	62	78	0	0	6	18	14	26	205	269			
結腸	0	0	0	3	2	2	24	31	0			0	0	2	2	7	29	40	0	0	2	2	4	42	50	0	0	1	0	1	5	43	50	0	1	7	7	18	138	171					
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	1	0	3	3	12	19	0			0	2	4	1	6	13	26	0	0	2	2	3	14	21	1	0	1	2	2	4	11	21	1	0	4	8	16	50	87					
肝及び肝内胆管	0	0	0	0	2	2	34	42	0			0	1	1	5	29	36	0	0	3	1	3	20	27	0	0	0	0	3	4	22	29	0	0	0	8	7	14	105	134					
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	0	0	2	15	17	0			0	0	0	2	11	13	0	0	2	1	1	10	14	0	0	0	0	2	0	21	23	0	0	0	2	3	5	57	67					
膵	1	0	0	3	1	5	25	35	0			0	1	2	3	7	33	46	0	0	2	1	5	22	30	0	0	2	3	2	3	36	46	1	0	3	10	7	20	116	157				
喉頭	0	0	0	0	0	1	1	2	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	8					
気管・気管支及び肺	0	1	3	2	14	110	131	0			0	6	3	18	118	145	0	0	1	3	9	12	98	123	0	0	0	4	7	14	113	138	0	1	2	16	21	58	439	537					
皮膚	0	0	0	0	0	0	2	2	0			0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	9				
乳房	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
前立腺	0	0	0	0	0	1	26	27	0			0	0	1	3	28	32	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	0	1	3	0	25	29	0	0	1	1	5	5	107	119				
膀胱	0	0	0	0	0	3	6	9	0			0	1	0	1	15	17	0	0	0	0	2	16	18	0	0	0	1	0	0	0	17	18	0	0	0	2	0	6	54	62				
中枢神経系	0	0	1	1	0	1	4	0	0			0	1	0	0	2	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0	4	2	10					
悪性リンパ腫	0	0	1	0	0	4	14	19	0			0	1	0	14	15	0	0	1	0	3	17	21	0	0	1	0	2	1	21	25	0	0	2	1	3	8	66	80						
白血病	0	0	1	0	2	0	6	9	0			0	0	1	1	6	7	0	0	0	0	3	7	10	0	0	2	1	1	7	11	0	0	1	2	3	5	26	37						
その他のリンパ腫・造血細胞及び関連細胞	0	0	0	0	0	1	7	8	0			0	1	0	3	7	0	0	0	1	1	5	8	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	3	1	5	20	29							
その他	0	2	1	1	3	7	23	37	0			2	1	1	3	2	24	33	0	0	2	3	2	28	35	0	0	1	2	3	37	43	0	4	2	5	11	14	112	148					

5) 悪性新生物 部位別死亡 (平成30年～令和3年累計)

		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	70歳未満の	70歳未満
									死亡数	死亡の割合
		再計								
胃	男	0	0	6	18	40	205	269	64	23.8%
	女	1	0	2	7	19	103	132	29	22.0%
大腸	男	1	0	5	15	49	188	258	70	27.1%
	女	0	1	3	11	24	183	222	39	17.6%
肺	男	0	1	2	16	79	439	537	98	18.2%
	女	0	0	4	7	14	176	201	25	12.4%
子宮	女	0	0	8	12	14	36	70	34	48.6%
乳	女	0	1	7	29	23	81	141	60	42.6%

6) 75歳未満年齢調整死亡率

悪性新生物

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	83.4	70.4	70.8	69.1	65.7	66.3	63.8
男	105	92.5	93	84.1	82.6	80.8	86.7
女	64	49.5	50.4	55.8	50.3	53.5	43.0

胃がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	9.3	8.5	6.2	10.4	5.3	9.2	8.9
男	11.4	12	8	13.1	9	13.8	12.6
女	7.6	5.1	4.6	7.8	1.8	4.8	5.4

大腸がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	15.6	13.3	11.2	13.3	15.9	11.3	14.8
男	20.3	16.7	10.6	16.3	22.2	13.9	21.4
女	11.3	9.9	11.8	10.3	9.8	8.8	8.5

肝がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	6.8	5.8	3.2	4.4	3.6	3.1	2.7
男	11	10.7	6.6	6.3	4.9	4.8	5.3
女	2.6	1.3	0	2.5	2.4	1.4	0.3

肺がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	19.2	16.7	11.7	11.3	13	12.2	11.9
男	30	29.8	21.9	17.4	20.6	19.8	20.4
女	9.4	4.1	2.1	5.7	6	5.2	4.1

乳がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	10	8.1	10.3	14.5	10.3	10	4.7
女	10	7.6	10.3	14.5	10.3	10	4.7

子宮がん

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
総数	6	7.6	4.9	3.8	7.1	5.5	6.3
女	6	7.6	4.9	3.8	7.1	5.5	6.3

Ⅱ. 新型コロナウイルスワクチン対策室

1. 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、国の方針に基づき令和3年2月から新型コロナウイルスワクチン接種を開始した。令和4年度は、令和3年12月から始まった3回目接種、令和4年6月以降のオミクロン株の流行に伴う、60歳以上の高齢者、18歳以上の重症化リスクの高い方等を対象とした4回目接種を順次実施した。9月には初回接種を終えた12歳以上の全てを対象とした令和4年秋開始接種（オミクロン株対応2価ワクチン接種）を実施するとともに、小児なども含め初回接種も並行して実施した。

接種状況

区分	回数	接種者数（人）	接種率
65歳以上	（1回目）	78,240	96.71%
	（2回目）	77,929	96.33%
	（3回目）	73,728	91.14%
	（4回目）	65,279	80.69%
	令和4年秋開始接種	57,844	71.50%
全体	（1回目）	252,323	81.44%
	（2回目）	251,316	81.12%
	（3回目）	202,786	65.45%
	（4回目）	127,679	41.21%
	令和4年秋開始接種	121,211	39.12%

※令和5年3月30日予診票回収分より

Ⅲ. 保健企画課

〔旧健康福祉課〕

1. 安心の地域医療検討委員会

1) 四日市市安心の地域医療検討委員会

保健、福祉、医療の連携体制など地域医療の推進を図るため、地域医療の在り方や今後の方向性について協議した。

	開催日	内容
1	7/20 ※Zoomでの開催	1. 報告 ・令和3年度在宅医療推進事業実績報告について （ケアマネジャー向け研修会について） ・令和3年度四日市市在宅医療・介護連携支援センター（つなぐ）業務実績について ・令和3年度地域ケア会議の実績について 2. 協議 ・改訂版退院時カンファレンスマニュアルについて
2	1/18 ※Zoomでの開催	1. 報告 ・令和4年度地域医療推進事業（中間報告）について ・令和4年度医療と介護の連携推進部会について ・令和5年度ケアマネジャー等向け研修会について ・令和4年度医療・介護ネットワーク会議及び医療・介護連携地域ケア会議（中間報告）について 2. 議事 ・退院時カンファレンスマニュアルアンケート結果について

2) 医療と介護の連携推進部会

在宅で長期に療養を要する患者及びその家族が安心して在宅医療に移行し生活することができるサービス提供体制等の構築について協議した。

	開催日	内容
1	12/21	1. 報告 ・四日市市在宅医療・介護連携視線センター業務実績について ・ケアマネジャー等向け研修会について ・退院時カンファレンスマニュアルの改訂について 2. 議事 ・退院時カンファレンスマニュアルアンケート結果について

3) 市民啓発推進部会

市民が在宅医療や緩和ケアなどについて理解を深め、自己の希望実現、家族対応ができるようにするための適切な情報提供及び啓発支援等について協議した。

	開催日	内容
1	3/15	1. 報告 ・在宅医療啓発補助事業の実績について 2. 議事 ・看取り、ACPに対する市民意識について ・ACPの周知に向けて

2. ケアマネジャー向け研修会

適正なケアプランを策定できるよう、在宅で問題になりやすい疾患の基礎知識を学ぶことができる研修会を開催している。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、YouTubeを利用して講義ごとに動画を掲載する形で開催した。

	講義内容	参加人数 (令和5年3月31日時点)
1	「退院時カンファレンスマニュアル2022～つむぐ～」 市内ケアマネジャー 伊藤 ターミエン氏、柴口 諭氏、 豊岡 哲也氏、廣瀬 磨由子氏	138人
2	「訪問看護ができることとケアマネジメントへの活用」 四日市看護医療大学 准教授 多次 淳一郎氏	183人
3	「精神障害の理解について」 障害者相談支援センターソシオ 管理者 下方 宏明氏	157人
4	「四日市地域の在宅医療について」 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治氏	145人
5	「難病について」 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治氏	145人
6	「明日からのケアプランが変わる！床ずれ予防プログラムを知ろう」 県立総合医療センター 地域連携課 課長 大川 恵美氏	133人

3. 訪問看護師関係研修事業

1) 特別講演会

潜在看護師等に対し、訪問看護を含む在宅医療への理解と就業意欲を醸成することを目的として、在宅医療・看護に関する講演会を実施した。受講者の希望により、対面及びZoomで開催した。

(1) 日時・講演内容

	開催日時	講演内容	講師	受講者数
1	8/6 14:00~16:00	訪問看護が担う ユニバーサル・ホスピ スマインド	小澤 竹俊氏 (めぐみ在宅クリニック院長/横浜 市)	44人

2) 訪問看護研修(初級コース)

潜在看護師や訪問看護に興味のある現役看護師等が在宅看護について必要な基本的知識・技術を習得するための研修を実施した。受講者の希望により、対面及びZoomで開催した。

(1) 日時、講義内容

※いずれも土曜日(見学実習を除く)

13:00~14:30、15:00~16:30

	開催日	講義内容	講師
1	10/1	訪問看護の魅力	山崎 衣緒理氏 (サンライズ訪問看護ステーション)
2		訪問看護対象論 療養者・介護者の特徴	東川 亜依子氏 (四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション)
3	10/15	訪問看護援助論① ヘルスアセスメント	森 あゆみ氏 (訪問看護リハビリステーションあすか)
4		訪問看護援助論② 自立支援とケアアレンジ	松下 容子氏 (みんなのかかりつけ訪問看護ステーション 四日市)
5	10/22	訪問看護援助論③ 意思決定の支援	松田 緑氏 (訪問看護ステーションしらかば)
6		訪問看護管理論① リスクマネジメント	中村 いお美氏 (四日市看護医療大学基礎看護学領域)
7	10/24~28の間で0.5日 見学実習		四日市市内の訪問看護ステーション
8	10/29	訪問看護管理論② 訪問看護に関わる制度	永田 三津子氏 (ときわ訪問看護ステーション)
9		訪問看護管理論③ ケアマネジメントと多職種連 携	川島 典子氏 (四日市医師会訪問看護ステーション)

(2) 受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	3人
合 計	3人

3) 訪問看護研修 (中級コース)

看護職として在宅ケアに携わるための基盤となる知識の習得を目的とした研修を実施した。受講者の希望により、対面及びZoomで開催した。

(1) 日時、講義内容

※いずれも土曜日

13:00~14:30、15:00~16:30

	開催日	講義内容	講師
1	11/5	看護師さんから〇〇さんへ	東川 亜依子氏 (四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション)
2		関係を築き・深める コミュニケーション・スキル	
3	11/12	“いつもと違う”を見極める	松下 容子氏 (みんなのかかりつけ訪問看護ステーション)
4		フィジカルアセスメント	
5	11/26	こころの“ゆらぎ”に沿い、	春名 誠美氏 (四日市看護医療大学在宅看護学領域)
6		支える 意思決定支援	
7	12/3	互いを知り、協働する	北井 真紀子氏 (四日市看護医療大学在宅看護学領域)
8		多職種連携	

(2) 受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	5人
潜在看護師	1人
合 計	6人

4) 訪問看護師スキルアップ

訪問看護ステーションの訪問看護師が、身近なところで必要な知識・技術を修得できる場として研修を開催した。

(1) 日時・講義内容

※原則、第3金曜日 18:30～20:00 (一部、変更あり)

	開催日	講義内容	講師	申込人数
1	9/22	危機管理① 感染管理	脇坂 浩氏 (浜松医科大学)	14人
2	10/21	危機管理② 災害のそなえ	多次 淳一郎氏 (四日市看護医療大学)	13人
3	11/11	危機管理③ セルフメンタルケア	畑中 三千代氏 (日本たばこ産業株式会社)	10人
4	12/16	ケア技術① 口腔・嚥下ケア	深津 ひかり氏 (ふかつ歯科)	21人
5	1/20	ケア技術② 小児のリハビリ	徳力 康治氏 (訪問看護ステーションいくわ)	10人
6	2/17	ケア技術③ エンゼルケア	渡邊 尚美氏 (みたき総合病院)	13人

5) 看護師派遣研修事業

在宅医療に対する研修事業に協力してもらえる訪問看護ステーションを募り、病院や介護事業所に勤務する看護師を協力訪問看護ステーションへ派遣し、病院から在宅への移行をより円滑に行い、市民が安心して在宅療養生活を送ることができるように研修を実施した。

派遣元内訳	受講者数
県立総合医療センター	7人
市立四日市病院	1人
山中胃腸科病院	1人
合計	9人
延べ14日間	

4. 在宅医療支援病床確保事業

在宅医の疲弊を軽減し、在宅医療を手掛けようとする医師の確保、並びに在宅医療を受けることを希望する市民・患者が安心できるように、在宅医が在宅患者の入院が必要と判断したとき、スムーズな受け入れができる体制を地域で構築する事業を実施した。

※事業対象となる例：肺炎等による発熱、食欲低下による全身状態悪化、脱水症状、運動機能低下等により、在宅でのQOL（生活の質）の低下が予測される場合など。

※協力医療機関：石田胃腸科病院、小山田記念温泉病院、主体会病院、
富田浜病院、山中胃腸科病院（計5カ所）

※利用期間：1回につき14日間以内

1) 利用状況

	利用件数	参 考
令和4年度	11件（延べ105日間）	令和元年度 9件 （延べ106日間） 令和2年度 12件 （延べ135日間） 令和3年度 10件 （延べ110日間）

5. 在宅医療啓発活動補助事業

在宅医療の啓発を行う市民活動について経費の一部を補助した。

	団 体 名	事業名・内容	講 師	開催日・会場
1	PPKほぼ	令和4年度 PPK ほぼ講演会 ○在宅医療と介護のシステム、高齢者の病気や病院のかかり方等について講演会を行う。	（第1回） 日本食育協会認定 食育講師 徳岡 薫氏 （第2回） 日本介護予防ダン ス協会 伊藤 麻 由氏	（第1回） 令和4年10月11日（火） 保々地区市民センター会議室 （第2回） 令和5年3月15日（水） 保々地区市民センター
2	桜地区社会福祉 協議会	福祉セミナー 「在宅医療」について ○住み慣れた家で最期を迎えることができる在宅を支える在宅医療について学習する。	菰野厚生病院 櫻井 翔氏	令和5年1月22日（日） 桜地区市民センター大会議室
3	三重北社会福祉 協議会	講演会①「在宅医療と栄養指導について」 ○在宅医療の現状と今後を知ること、日常生活下の栄養指導等をふまえた見落とし易いところの対処方法を学び、在宅医療を身近なものとして理解する。	—	—
4	協議会 （中止）	講演会②「在宅医療の現状について」 ○在宅医療の現状を知ること、医療を受ける側、支援する側の役割とかかりつけ医院間の連携、対処方法を学び、在宅医療を身近なものとして考えてもらう。	—	—

5	県地区社会福祉協議会	最期まで自分らしく生きる為に・・・その4 「訪問看護ステーションの利用について」 ○安心して住み慣れた自宅で最期まで自分らしく生きることができるように、訪問看護ステーションの概要、医療ケアの内容などを学ぶ。	菺野厚生病院 岸田 育代氏	令和4年12月17日(土) 県地区市民センター会議室 (リモート会場 あがたが丘集会所ホール)
6	三重西社会福祉協議会	三重西高齢者 元気・いきいき健康講座 ○三重西地区の高齢者等が団地の特徴とも言える一人暮らし、高齢者のみの世帯が多い状況であることから、在宅で安心して健康な生活を続ける上で、高齢者の食事に焦点を当て、食事内容や栄養、体のことについてを学ぶ。	日本食育協会認定 食育講師 徳岡 薫氏	令和4年11月26日(土) 三重西小学校体育館
7	特定非営利活動法人元気な笑顔	地域住民に向けての講演会「在宅医療の現状」 ○在宅介護及び医療の現状から、地域としての関わり合い並びに身近な問題として考える機会とする。	富田浜病院 前田 明日香氏	令和4年10月22日(土) よってこ家 (リモート形式も併用)
8	川島地区福祉教室実行委員会	川島地区福祉教室 「不整脈は放置できない！」～人生100年健康で生きたい～ ○元気に安心して暮らすための疾病予防や住み慣れた地域で終末期を迎えられるように在宅医療について考える機会を作る。	みたき健診クリニック 千田 豊氏	令和5年1月22日(日) 川島地区市民センター大会議室

6. 在宅医療・介護連携支援事業

四日市市在宅医療・介護連携支援センター(愛称:つなぐ)において、医療・介護関係者からの相談支援を行うなど、医療と介護の連携強化に努めた。

1) 相談件数

	医療機関からの相談	介護機関からの相談	合計
相談件数	430件	643件	1,073件

2) 訪問件数

	医療機関への訪問	介護機関への訪問	合計
訪問件数	44件	405件	449件

7. 介護・看護人材育成研修

介護職・看護職の不足が懸念されていることから、各職種のスキルアップ研修を実施し、市内の介護現場への定着、就業意欲が高められるよう支援をした。

1) 介護職向けスキルアップ研修会

いずれも Zoom で開催した。

(1) 実務経験 5 年未満者対象

	開催日時	講義内容	講師	人数
1	3/10 13:00~16:00	認知症の人の理解と対応の基本	白澤 政和氏 (四日市福祉専門学校)	7 人

(2) 実務経験 10 年以上対象

	開催日時	講義内容	講師	人数
1	3/17 13:00~16:00	尊厳を守るケアの実践について	伴野 千登勢氏 (四日市福祉専門学校)	13 人

2) 看護職向け研修会

受講者の希望により、対面及び Zoom で開催した。

原則第 3 金曜日 16:00~17:30 (一部、変更あり)

	日時	テーマ	講師	申込人数
1	9/22	施設看護に活かす医療ケア技術 褥瘡のケア	大川 恵美氏 (三重県立総合医療センター)	17 人
2	10/21	施設看護に活かす生活援助技術 (1) 眠りの援助	鈴木 裕美氏 (橋北楽々館在宅介護支援センター)	11 人
3	11/11	施設看護に活かす生活援助技術 (2) 食べることの援助	菅原 啓太氏 (三重県立看護大学) 刀根 美穂子氏 (ナーシングホームもも鳥取)	14 人
4	12/16	施設看護に活かす生活援助技術 (3) 排泄の援助	久保田 千代子氏 (エンドオブライフケア協会)	10 人
5	1/20	施設看護管理 (1) 感染管理	脇坂 浩氏 (浜松医科大学)	11 人
6	2/17	施設看護管理 (2) 施設看護の倫理	青木 智子氏 (ナーシングホームもも鳥取)	12 人

8. がん患者・家族支援事業

1) 「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン」 in 四日市

がん患者とその家族への支援のため、三重県がん相談支援センターの協力のもと、地域における情報交換と交流の場として、年5回サロンを開催した。

(1) 開催状況

※いずれも水曜日 四日市市総合会館

開催日	人数	サポーター等関係者
4/13	1人	4人
6/8	0人	5人
10/12	1人	4人
12/14	3人	5人
2/8	7人	7人

9. 応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行った。

- ① 診療日 : 日曜日、祝(休)日、12月31日、1月1日、1月2日、1月3日
- ② 診療時間 : 10:00~12:00 13:00~16:00
- ③ 診療科目 : 内科、小児科、耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科は日曜日のみ)

1) 受診状況

年度	内科 (人)	小児科 (人)	耳鼻科 (人)	計 (人)	一日平均
					() は診療日数
令和4年度	1,400	1,212	243	2,855	40.79人(70日)
令和3年度	627	790	279	1,696	24.23人(70日)
令和2年度	485	480	284	1,249	17.84人(70日)

2) 運営委員会開催状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを利用してオンライン上で開催した。

	開催日	議事
1	9/14	1. 会長、副会長の選任について 2. 報告 1) 令和3年度運営状況について 2) その他報告事項について 3. 議事 1) 応急診療所における採用薬剤について (四日市薬剤師会様より) 2) これまでの新型コロナウイルス感染症対応について 3) 今後の感染症対応について 4. その他

10. 歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行った。

1) 診療日及び診療時間

応急診療：12月30日、12月31日、1月1日、1月2日（9：00～11：30）

障害者（児）診療（予約制）：火、木曜日（13：30～16：30）

月概ね2回日曜日（9：30～12：30）

※祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

2) 受診状況

年度	休日診療			障害者診療			一日平均 (人)
	診療実日 数(日)	受診者 数(人)	1日平均 (人)	診療実日 数(日)	受診者数(人)		
					延数	新患再掲	
令和4年度	4	48	12.0	92	1,774	651	19.3
令和3年度	4	47	11.8	91	1,727	593	19.0
令和2年度	4	68	17.0	91	1,728	656	19.0

※障害者診療日（日曜日等）に応急処置希望者の受診があった場合、対応可能な範囲で診療を実施した。

3) 運営委員会開催状況

	開催日	議 事
1	3/30	1. 令和3年度事業報告 2. 令和4年度事業経過報告 3. 令和4年度指定管理者の運営協議

〔旧保健予防課〕

1.1. 四日市市地域保健運営協議会

地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後に反映していく目的で協議会を開催とした。

回数	開催日	議 事
第1回	令和4年11月22日(火)	「第3次四日市市保健医療推進プラン」について ほか

1.2. 四日市地域救急医療対策協議会

1) 四日市地域救急医療対策協議会

四日市地域内の救急搬送及び救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議し、地域の実情に即した体制の整備の推進を図るとともに、感染症などの健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、平常時からの連携体制を確保することを目的として協議会を設けている。

2) 四日市地域救急医療対策協議会新型インフルエンザ等対策部会

新型インフルエンザ等の健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、四日市地域救急医療対策協議会の下部組織として対策部会を設けている。

1 3. 各種統計・報告

1) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ることを目的に、衛生行政の実態を把握した。

2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的な推進を行っていくための基礎資料を得ることを目的として実態を把握した。

3) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握した。

4) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために、静態調査は3年毎に実施し、動態調査は月毎に実施している。（令和4年度は非該当）

5) 国民生活基礎調査

国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的として毎年度実施している。

6) 患者調査

病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和4年度は非該当）

7) 受療行動調査

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和4年度は非該当）

1 4. 免許の申請、書き換え交付状況

医師、歯科医師その他の保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行った。

令和4年度

	新規申請 (件)	書き換え (件)	再交付 (件)	抹消 (件)	計 (件)
医 師	30	5	2	0	37
歯 科 医 師	9	1	0	2	12
保 健 師	31	24	3	0	58
助 産 師	6	9	0	0	15
看 護 師	135	109	9	0	253
准 看 護 師	16(5)	2(1)	1	0	19(6)

栄 養 士	28	17	6	0	51
臨 床 検 査 技 師	14	6	0	0	20
衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0
診 療 放 射 線 技 師	8	8	0	0	16
理 学 療 法 士	15	12	1	0	28
作 業 療 法 士	7	8	0	0	15
薬 剤 師	28	10	1	1	40
管 理 栄 養 士	22	10	2	0	34
視 能 訓 練 士	3	2	0	0	5
合 計	352(5)	223(1)	25	3	603(6)

() 内の数字は県外免許の数(内数)

15. 病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院及び診療所に対して、立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行った。

1) 病院・診療所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

年度	病院(毎年実施)			診療所(概ね5年に1度実施)		
	対象数 (件)	実施数 (件)	実施率 (%)	対象数 (件)	実施数 (件)	実施率 (%)
令和4年度	13	13	100.0	※417	46	11.0
令和3年度	13	13	100.0	※415	0	0.0
令和2年度	13	0	0.0	※419	0	0.0

(※開設施設中、休止施設のぞく。助産所を含む。)

令和4年度は市内の全13病院に対して書面検査を行うとともに、令和2年度以降に新規開設した診療所など早期に実地検査を行う必要性が高い診療所46件に対して立入検査を実施した。

(2) 病院立入実施結果

年 度	令和4年度	
	病院数(件)	不備率(%)
指 摘 内 容		
医療安全管理体制の整備	13	0
医療従事者に対する健康診断の実施	13	0
医療従事者の不足	13	0
その他	13	0

(3) 診療所立入実施結果

年 度	令和4年度	
	診療所数(件)	不備率(%)
医療安全管理体制の整備	46	0
医療従事者に対する健康診断の実施	46	0
その他	46	0

16. 衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行った。

17. 医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行った。

1) 市内医務施設数

	病院	医科診療所	歯科診療所	歯科技工所	助産所	施術所	合計
令和4年度	13	268	150	33	7	307	778
令和3年度	13	268	148	37	6	309	781
令和2年度	13	272	147	37	5	298	772

各年度末の施設数

2) 確認検査と開設・廃止状況

(件)

年 度	確認検査		開設許可		開設届		廃止		使用許可	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
病院	1	0	0	0	0	0	0	0	15	15
医科診療所	11	7	11	14	14	16	13	20	1	0
歯科診療所	5	6	1	4	5	6	4	5	2	0
歯科技工所	1	0	-	-	1	0	8	0	-	-
助産所	2	1	0	0	2	1	1	0	0	0
施術所	7	13	-	-	7	12	10	6	-	-
衛生検査所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	27	27	12	18	29	35	36	31	18	15

3) 市内病院及び許可病床数

令和5年3月末現在

	許可病床数					
	一般	療養	精神	結核	感染	総数
三重県立総合医療センター	415				4	419
市立四日市病院	535				2	537
四日市羽津医療センター	226					226
みたき総合病院	111	88				199
主体会病院	105	123				228
小山田記念温泉病院	222	155				377
医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター	20	20				40
富田浜病院	47	98				145
総合心療センターひなが			480			480
山中胃腸科病院	48	45				93
石田胃腸科病院	38					38
水沢病院		38	174			212
四日市徳洲会病院		30				30
計	1,767	597	654		6	3,024

18. 献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及、啓発に努めるとともに、多くの市民に献血にご協力いただいた。

1) 四日市市献血推進の日（夏、冬）

実施月日：令和4年7月22日（金）、令和5年1月27日（金）

実施場所：近鉄四日市駅北口・ふれあいモール

2) 四日市献血ルーム「サンセリテ」

三重県赤十字血液センターが近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階にて常設の献血ルームを開設している。

3) 献血状況

(1) 献血イベントの状況

	推進の日（夏）	推進の日（冬）
献血者数(人)	68	56
啓発参加者数(人)	58	40

(2) 市内献血バス及び献血ルーム「サンセリテ」の状況

	令和4年度			令和3年度		
	献血協力者実績(人)			献血協力者実績(人)		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
献血バス	—	—	3,089	—	—	3,273
サンセリテ	10,965	480	6,271	11,048	396	5,562
合計	10,965	480	9,360	11,048	396	8,835

19. 骨髄バンク事業推進

献血イベントに併せ、意識の普及啓発に努めるとともに、平成26年度より骨髄提供を行った市民及び事業所に対し、奨励金を交付する骨髄等提供支援事業を実施している。

1) 骨髄バンクの普及啓発

- ・令和4年7月22日(金) 近鉄四日市駅北口・ふれあいモールで実施
- ・令和5年1月27日(金) 近鉄四日市駅北口・ふれあいモールで実施

2) 骨髄等提供支援事業実績

- ・令和4年度奨励金の交付実績 2件

IV. 保健予防課

1. 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供、療養支援及び接触者に対する健康診断を実施し、早期発見・早期治療につなげることで、結核のまん延防止に努めた。

また、結核定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を行い、結核の予防を図った。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数 (人) (活動性分類・年齢階級別)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

分類別 年齢	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外 結核 活動性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結核 菌陽性	菌陰性 その他		
			総 数	初回治療	再治療				
総 数	20	15	9	9	0	5	1	5	8
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	3	2	0	0	0	2	0	1	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40～49	0	0	0	0	0	0	0	0	2
50～59	2	1	0	0	0	0	1	1	0
60～69	1	1	0	0	0	1	0	0	1
70～	14	11	9	9	0	2	0	3	4

(2) 新登録患者数・罹患率の推移

() は、喀痰塗抹陽性患者数の再掲

	令和4年	令和3年	令和2年
新登録患者数(人)	20(9)	26 (8)	18 (8)
罹患率(人口10万対)	6.4	8.4	5.8

※新登録患者のうち、潜在性結核感染症除く

(3) 年末現在登録者数(人)(活動性分類・受療状況別)

令和4年12月31日現在

分類別 区分	総数	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症
		登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他				
		初回治療	再治療						
総数	53	7	0	6	1	5	34	0	13
入院	3	3	0	0	0	0	0	0	0
外来医療	15	3	0	6	1	5	0	0	6
医療なし	35	1	0	0	0	0	34	0	7
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第37条の2申請状況(一般患者に対する医療)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	その他	(別掲)変更申請
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
申請件数	37	13	3	4	0	0	13	4	0	0
承認件数	37	13	3	4	0	0	13	4	0	0

(2) 感染症法第37条申請状況(入院患者の医療)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除報告(別掲)	
					入院	就業制限
申請件数	24	9	15	0	9	10
承認件数	24	9	15	0		

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	その他
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
令和3年末現在	1	1	0	0	0	0	0	0	0
令和4年承認件数	10	0	0	1	0	0	7	2	0
令和4年解除件数	8	1	0	1	0	0	5	1	0
令和4年末現在	3	0	0	0	0	0	2	1	0

3) 結核検診

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況 (人)

令和4年度

対象別	区分	実施者数 [延人数]	ツベルクリン 反応検査		※1 血液検査 (QFT検査・T-SPOT検査)		間接撮影 (直接撮影)	
			受診者数	感染者数	受診者数	感染者数	受診者数	患者発見数
定期	総数	31,299					2,689 (28,610)	0
	事業所	14,417					1,157 (13,260)	0
	学校	4,700					1,168 (3,532)	0
	施設	1,765					364 (1,401)	0
	一般住民	10,417					0 (10,417)	0
定期外	接 触 者							
	総数	68[86]	1[2]	0	67[84]	4	(5 [5])	0
	患者家族	21[34]	1[2]	0	20[32]	3	(2 [2])	0
	その他	47[52]	0[0]	0	47[52]	1	(3 [3])	0
	管理検診	12[16]					(12[16])	0

※1 結核菌に感染しているかどうかを調べる検査。

※2 接触者健診の直接撮影受診者は血液検査を合わせて実施しているため、実施者数[延人数]に含めない。

4) 結核健康相談

感染症法第53条の14に基づき、結核登録患者や家族を訪問するなどして、保健指導を実施した。

(件)

保健指導件数	令和4年度	令和3年度
所内面接件数	11	19
訪問指導件数	26	11
電話相談件数	305	212

5) 直接服薬確認(DOTS)事業

(1) DOTS支援状況

(人)

	対象者数	支援方法		
		面接・訪問	郵送	電話連絡
令和4年度	39	6 (16)	3 (12)	30 (123)
令和3年度	31	3 (6)	3 (21)	25 (83)
令和2年度	28	3 (8)	2 (10)	23 (79)

()内は、延人数

(2) DOTSカンファレンス

結核病床を有する医療機関で開催されるDOTSカンファレンスに参加した。

令和4年度

実施場所	実施日	参加者	検討数
三重中央医療センター	令和4年5月19日 令和4年8月18日 令和4年9月15日※ 令和4年11月17日 令和4年12月15日 令和5年1月19日 令和5年2月16日 令和5年3月16日	担当医、病棟看護師、病棟薬剤師、医療社会専門員、保健所保健師	入院：8件
伊勢赤十字病院	令和4年5月11日	担当医、病棟看護師、保健所保健師	入院：1件

※感染症対応のため資料送付のみ

2. 地域精神保健福祉対策

1) 措置・移送業務

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他精神的健康の保持増進に努めた。

(1) 精神障害者保護取扱状況

(件)

	申請・通報件数						通報等による調査結果の処理		指定医診察結果		措置非該当の場合の結果	
	計	法22条	法23条	法26条の2	法26条の3	法27条第2項	診察必要	診察不要	措置該当	措置非該当	医療保護入院	その他
令和4年度	54	0	54	0	0	0	53	1	30	23	10	13
令和3年度	40	0	40	0	0	0	39	1	23	16	8	8
令和2年度	49	1	48	0	0	0	49	0	20	29	13	16

※精神保健福祉法

第22条：親族又は一般人からの申請 第23条：警察官の通報

第26条の2：精神科病院の管理者の届出

第26条の3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報

第27条第2項：市長職務診察

(2) 病名別・措置入院者数

(件)

	総 数	認 知 症	ア ル コ ー ル	依 存 症	薬 物 依 存 症	統 合 失 調 症	双 極 性	感 情 障 害	そ う 病	う つ 病	人 格 障 害	そ の 他
男 性	19	1	0	0	0	6	3	2	2	0	0	5
女 性	11	0	0	0	0	4	1	0	0	3	0	3
令和4年度 措置患者総数	30	1	0	0	0	10	4	2	2	3	0	8
令和3年度 措置患者総数	23	0	3	0	0	10	3	0	0	0	0	7
令和2年度 措置患者総数	20	2	0	1	1	12	0	1	1	1	1	2

(3) 四日市市保健所精神措置等連携会議

関係機関：医療機関、警察署

内 容：精神措置業務や精神保健相談に係る情報共有及び連携について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

2) 手帳・医療の助成業務**(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況**

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1 級	211	217	221
2 級	2,087	1,993	1,828
3 級	1,006	866	735
合 計	3,304	3,076	2,784

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
交付数	6,918	6,633	6,826

3) 地域精神保健福祉対策業務**(1) 精神保健福祉相談**

精神疾患の治療やその対応等について、相談指導に医師、精神保健福祉士、保健師等が応じ、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図った。また、医療や福祉を必要とする精神障害者に適切な関係機関を紹介した。

対 象：本人、家族、その他

周知方法：広報よっかいち掲載、チラシ配布など

場 所：四日市市総合会館

① 医師による精神保健福祉相談

実施日：原則 毎月第2木曜日及び第4金曜日 年24回（うち実施22回）
 思春期相談 年3回（うち実施3回）
 アルコール関連問題相談 年1回（うち実施1回）

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
来所相談の総件数		65	52	65
相談者内訳	本人	18	14	11
	本人と家族	11	18	7
	家族のみ	17	11	14
	その他（関係者など）	19	9	33

家庭訪問

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
医師の家庭訪問件数	2	1	2

※ 保健師との同行訪問

② 精神保健福祉士による精神保健福祉相談

日時：原則 月～木曜日 9:00～16:00

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談の総件数		155	16	36
内訳	面接	32	1	13
	電話	123	15	23
	訪問	0	0	0

③ 保健師等による精神保健福祉相談

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談の総件数		4,326	3,866	3,608
内訳	面接	568	475	386
	電話（メール含む）	3,471	3,039	2,773
	訪問	287	352	449

(2) 普及啓発

① こころの健康講座

広く市民がこころの健康や病気について正しく理解することにより、こころの健康の保持増進を図るとともに、本人または家族、知人にこころの病気が疑われる時に適切に対応し、必要な相談や受診につながることを目的として実施しているが、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

対 象：市民、市内通学・通勤者

場 所：四日市市勤労者・市民交流センター

内 容：精神科医・臨床心理士による講座、当事者との交流（わかば共同作業所）

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加者人数	72	—	—

② こころの健康づくり講演会

地域住民がこころの健康の保持、増進を図り、こころの健康や病気について正しい知識を得ることで、適切に相談や受診につながるよう実施しているが、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

対 象：市民、市内通学・通勤者

場 所：四日市市総合会館8階 視聴覚室

内 容：「ケーキの切れない非行少年たちと頑張れない子どもたち」

講 師：立命館大学 教授 宮口 幸治 氏

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加者人数	95	—	—

③ 地区出前講座・地区依頼健康教育

回 数：7回

参 加 者：212人

内 容：精神疾患の正しい理解、自殺予防、ストレスケア 等

(3) 自殺予防対策

① 自殺対策連絡会議

本市の現状を把握し、各関係機関が課題等の実態を共有し、関係機関に訪れた人の日常の中に隠れている自殺の兆候に気付き、支援体制を整えるなど市内の総合的な取り組みを行っていくための情報共有、研修、情報交換等を実施し、相談に対する職員の意識の向上を図った。

対 象：人権施策推進委員会相談体制部会員

四日市市人権にかかる相談ネットワーク連絡会会員

各地区市民センター職員、

自殺予防対策に係る関係職員

等

【第1回】

内 容：「ひきこもりの理解に役立つ精神疾患への対応について」
講 師：総合心療センターひなが 医師 高原 正明 氏
参 加 者：25人

【第2回】

内 容：「高齢者のメンタルヘルス～高齢者うつ病と
三重県における高齢者の自殺の特徴・予防的介入について～」
講 師：三重大学 保健管理センター 教授 谷井 久志 氏
参 加 者：24人

② 自殺予防週間（9月10日～9月16日）

- ・庁内関係部署に啓発用ポスター、パンフレット、ティッシュ配布
- ・広報掲載、市ホームページ掲載、庁内モニターの放映

③ 自殺対策強化月間（3月）

- ・庁内関係部署に啓発用ティッシュ等配布
- ・市内の路線バス（三重交通）のバスマスク掲示
- ・広報「健康だより」掲載
- ・働く世代の健康情報掲載
- ・近鉄四日市駅、近鉄富田駅、塩浜駅、あすなろう鉄道構内ポスター掲示
- ・市立図書館2階にパネル、関係書籍、パンフレット等の展示
- ・総合会館1階人権ひろばにてパネル、パンフレット等展示

④ メンタルパートナー養成研修

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人や悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人の養成を実施し、支援のネットワークづくりに努めた。

内 容：自殺の現状とその背景にある問題、自殺のサイン、声のかけ方
メンタルパートナーとしての役割等（DVD視聴含）

回 数：9回

参 加 者：366人（研修・講座・講演会等重複）

⑤ 自殺未遂者支援

自殺未遂者の再企図防止のため、救命救急センターと連携し、支援の在り方を検討するための検討会を実施した。市内精神科病院および四日市市教育委員会（指導課）が参加し、より連携を深めることができた。

- ・自殺未遂者支援検討会

場 所 三重県立総合医療センター 会議室

回 数 6回

・臨床心理士との自殺未遂者事例検討会

場 所 四日市市総合会館

回 数 2回

⑥ 四日市市人権研修リーダー養成講座

働く世代の自殺率を減少させるため、事業所に対し効果的にメンタルヘルスについての正しい知識の普及、適切な支援につなげるため、四日市市人権啓発企業連絡会の協力を得て、研修会を開催した。

内 容 : 「書くだけで自己肯定感がUP!!

～1本のペンと1冊のノートで眠っているあなたの力を引き出せる～」

講 師 : 三重県立こころの医療センター

精神保健福祉士・社会福祉士 山本 孝二氏

参加者 : 37人

(4) 組織の育成・支援

① 地域家族会支援

地域で精神障害者の家族が共に助け合い生活していくため家族会に対して支援を行った。

対 象 : 地域家族会「ほうれん草の会」

内 容 : 定例会の出席

※令和4年度は土曜日開催や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不参加。

② 若年者早期支援事業

若年者の統合失調症を中心とした精神疾患の早期発見、早期治療につなげるため、また思春期の自殺対策について、多機関で包括的に取り組むため、医療機関、教育委員会、保健所が連携を強化し、事業を実施した。

内 容 : ・四日市早期支援ネットワーク本会議参加 0回

・連絡会議参加 11回

・児童生徒への出前授業 高校1件、中学校0件、小学校2件

・教職員等事例検討会 2回、ケース会議 3回

・教職員対象出前研修 1件

・思春期精神科医師相談 実施回数 3回

来所者 4人

・個別相談 延べ46件

・YESnet 夏季研修会（教職員対象）

内容 : 「子どもの心の傷つきを考える

～被虐・ヤングケアラーなどの体験を持つ子どもへの支援」

講師 : 鈴鹿医療科学大学 准教授 土田 幸子 氏

③ 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク

四日市地域の医療機関や職域及び地域の関係機関の関係者が連携を図り、アルコール依存症等の研究、啓発、情報交換を行っているネットワークの事務局として企画、調整を行った。

- 内 容：・広報 10 月上旬号アルコール問題に関する記事掲載
- ・従事者向け研修会の企画、出席 1 回
 - ・多機関連携事例検討会 3 回
 - ・ネットワーク運営委員会の開催 2 回
 - ・各種チラシ等の作成
 - ・イオン尾平店にて普及啓発イベントの実施

(5) 地域等における連携会議

こころの病などで悩む人への支援を実施するため、地域及び関係機関等において情報の共有、検討を図るため会議に出席した。

連携会議出席回数 28 回（実人数 20 人）

(6) 医療観察法に基づいたケア会議

心神喪失又は心神耗弱の状態、重大な他害行為を行った精神障害者に対して、医療の保護と社会復帰の促進のため、保護観察所が主催するケア会議に出席し、地域支援を行った。

対象件数 2 件 家庭訪問 17 回 ケア会議出席回数 7 回

3. 難病対策

1) 特定医療費（指定難病）受給者証認定状況

国が指定する 338 の指定難病を対象とした特定医療費の助成制度により、医療費の自己負担の軽減が図られている。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和 4 年度末現在認定者数（人）

疾病番号	病名	認定者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2
2	筋萎縮性側索硬化症	19
3	脊髄性筋萎縮症	0
4	原発性側索硬化症	1
5	進行性核上性麻痺	20
6	パーキンソン病	312
7	大脳皮質基底核変性症	8
8	ハンチントン病	2
9	神経有棘赤血球症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3
11	重症筋無力症	71
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	44

14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	9
15	封入体筋炎	8
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	76
19	ライソゾーム病	13
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	4
22	もやもや病	39
23	プリオン病	2
24	亜急性硬化性全脳炎	0
25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	0
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	5
29	ウルリッヒ病	0
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
34	神経線維腫症	12
35	天疱瘡	8
36	表皮水疱症	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
39	中毒性表皮壊死症	0
40	高安動脈炎	5
41	巨細胞性動脈炎	7
42	結節性多発動脈炎	4
43	顕微鏡的多発血管炎	25
44	多発血管炎性肉芽腫症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	19
46	悪性関節リウマチ	9
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2
49	全身性エリテマトーデス	137
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	62
51	全身性強皮症	122
52	混合性結合組織病	25

53	シェーグレン症候群	23
54	成人スチル病	7
55	再発性多発軟骨炎	3
56	ベーチェット病	36
57	特発性拡張型心筋症	47
58	肥大型心筋症	7
59	拘束型心筋症	0
60	再生不良性貧血	12
61	自己免疫性溶血性貧血	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	54
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
65	原発性免疫不全症候群	4
66	IgA 腎症	56
67	多発性嚢胞腎	37
68	黄色靱帯骨化症	16
69	後縦靱帯骨化症	87
70	広範脊柱管狭窄症	5
71	特発性大腿骨頭壊死症	53
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	21
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	7
75	クッシング病	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11
78	下垂体前葉機能低下症	54
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	38
85	特発性間質性肺炎	40
86	肺動脈性肺高血圧症	9
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	30
91	バッド・キアリ症候群	1

92	特発性門脈圧亢進症	2
93	原発性胆汁性胆管炎	37
94	原発性硬化性胆管炎	5
95	自己免疫性肝炎	6
96	クローン病	130
97	潰瘍性大腸炎	375
98	好酸球性消化管疾患	4
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	4
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
110	ブラウ症候群	1
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	10
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	1
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	4
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0

131	アレキサンダー病	0
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	3
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0
152	PCDH19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	4
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	5
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0

170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R - X 症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1 p36 欠失症候群	0
198	4 p 欠失症候群	0
199	5 p 欠失症候群	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	0
206	脆弱 X 症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	1

209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	2
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	1
216	両大血管右室起始症	2
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	4
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	38
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
224	紫斑病性腎炎	0
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1
227	オスラー病	1
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
230	肺胞低換気症候群	0
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	1
241	高チロシン血症 1 型	0
242	高チロシン血症 2 型	0
243	高チロシン血症 3 型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0

248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0
249	グルタル酸血症 1 型	0
250	グルタル酸血症 2 型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳腱黄色腫症	0
264	無 β リポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	0
266	家族性地中海熱	0
267	高 Ig D 症候群	0
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	10
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	1
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	3
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0

287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
289	クローンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	1
298	遺伝性膝炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	9
301	黄斑ジストロフィー	1
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシュャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	34
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX 1 B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0

326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1
331	特発性多中心性キャスルマン病	4
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低 β リポタンパク血症1（ホモ結合体）	0
337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
	合計	2,520

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関と相互連携して評価及び課題の検討を行うことにより、地域支援体制充実を図った。

① ケア会議参加（定例）

概ね第2火曜日：対象患者2名

事例疾患	検討内容	回数	出席者
筋萎縮性側索硬化症	在宅療養支援のための情報共有、支援者間の連携等	12回	地域主治医・看護師・ケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパー・保健師等

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行った。

① 家庭訪問

	病名	実人数	延人数
令和4年度	筋萎縮性側索硬化症	4	5
	計	4	5
令和3年度	筋萎縮性側索硬化症	2	2
	計	2	2
令和2年度	筋萎縮性側索硬化症	3	3
	計	3	3

② 来所相談

	実人数	延人数
令和4年度	12	13
令和3年度	4	4
令和2年度	3	3

③ 電話相談

	実人数	延人数
令和4年度	11	20
令和3年度	15	18
令和2年度	14	14

(3) 訪問看護師等育成事業<難病研修>

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修を行った。

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和5年2月24日(金) オンライン会議にて資料 配布	・意思伝達装置について ・特定医療費(指定難病)医療費助成 制度の概要、申請について	四日市地域のケアマネ ジャー等	110 アカウ ント

3) 災害時対応の支援

医療依存度の高い在宅療養患者の生命を維持するため、災害時に近隣の住民による円滑な支援ができるよう、在宅療養患者が生活している自治会や地域の自主防災組織と協働し、避難訓練を行った。

日時・場所	内容	参加者
令和4年 11月13日(日) 9:00~11:00 波木南台集会所	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治氏 (2) 実技訓練 ・アンビューバッグの取扱い ・毛布を使った搬送方法 ・リクライニング車椅子を用いた搬 送訓練	29名 ・波木南台住民(自治会長・地域 支援者・自治会防災担当者) ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・鈴鹿保健所、桑名保健所 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課 ・四日市市保健所 保健予防課
令和4年 11月20日(日) 9:00~11:00 市立西笹川中学 校 体育館	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治氏 (2) 実技訓練 ・呼吸器、アンビューバッグの取扱 ・毛布を使った搬送方法 (3) ALS患者宅への訪問	33名 ・笹川四丁目住民(自治会長・地 域支援者・自治会防災担当者) ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・フィリップスエレクトロニクス ジャパン ・津保健所、鈴鹿保健所 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課 ・四日市市保健所 保健予防課

4. 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法という。）に基づき、感染症の発生予防及び感染拡大防止に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進した。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行った。

1) 感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム）

感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム：全国規模で情報を迅速に収集、分析、公開するオンラインシステム）を利用して、発生情報を国及び三重県に報告すると共に、感染症発生動向情報を受信し、ホームページにより市民に情報提供した。

2) 感染症患者の発生状況（新型コロナウイルス感染症除く）

(1) 一類・二類・三類感染症発生状況（二類：結核以外） (件)

	病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
三類感染症	細菌性赤痢	-	4	-
	腸管出血性大腸菌感染症	13	4	7
	腸チフス	1	-	-

※一類・二類（結核以外）感染症の発生なし。

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの） (件)

	病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
四類感染症	E型肝炎	1	1	2
	A型肝炎	1	1	-
	つつが虫病	6	1	2
	レジオネラ症	8	4	5
五類感染症	アメーバ赤痢	2	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	3
	急性脳炎	2	2	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	2
	後天性免疫不全症候群	2	3	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	6	10
	水痘（入院例に限る。）	-	2	-
梅毒	20	23	10	
播種性クリプトコックス症	1	-	1	

(3) 病原体検査実施状況

(延人数)

病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
細菌性赤痢	-	23	-
腸管出血性大腸菌感染症	53	15	27
腸チフス	15	-	-
RSウイルス	2	-	-
E型肝炎	1	-	2
咽頭結膜熱	1	2	-
インフルエンザ	11	-	-
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	2
感染性胃腸炎	7	13	-
急性脳炎	2	2	1
呼吸器感染症一般	-	1	-
つつが虫病	3	1	1
手足口病	2	6	-
日本紅斑熱	1	1	-
ヘルパンギーナ	-	2	-

(4) 社会福祉施設等における発生状況

社会福祉施設からの感染症発生の報告に対し、調査及び指導等を行った。(件)

施設種別	病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
社会福祉施設	感染性胃腸炎	2	2	-
	インフルエンザ	-	-	-

3) 衛生教育

感染症予防のための広報、ホームページ掲載、チラシの配布を行うとともに、自治会や企業、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施した。

また、福祉施設職員の感染症の及び食中毒の予防に対する意識を高め、正しい知識を日々の業務に活かすことにより、感染症発生時の拡大防止を図るため、福祉施設向けの啓発資料を配布した。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回数(回)	2※	1	10
延人員(人)	集合 29 オンライン 80	208	338

※うち1回オンライン開催。

① 感染症研修会

高齢者は感染症に対する抵抗力が低いため、集団生活の場で感染症が発生した場合、集団感染に繋がるリスクが高いことが想定されることから、感染症予防対策を職員中心に再確認することにより、感染症の集団発生の防止を図った。

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和4年11月25日(金) 13:30~15:10 総合会館 7階 第1研修室	テーマ：新型コロナウイルス感染症 <講義> ・四日市市における新型コロナウイルス感染症の発生状況 ・感染対策の基礎知識 ・日常の感染予防策 <動画視聴> 施設内の感染対策 <PPE着脱実演・実技>	介護保険サービス事業所及びサービス付き高齢者向け住宅、西老人福祉センターにおける、感染症対策の中心者・実務を担う職員ほか	29人

4) 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年3月の新型コロナウイルス感染症市内1例目の発生から約3年が経過した。この間、保健所設置市である本市は、相談窓口の設置や正確な情報の提供、関係機関との連携、協力のもと地域の医療機関における診療・検査体制の整備等に努めてきた。

(1) 発生状況

(件)

病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新型コロナウイルス感染症	73,976	11,166	380

※令和4年度の件数は、令和4年9月から発生届の対象者が限定されたため、公表件数とする。

(2) 検査実施状況

(延人数)

病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新型コロナウイルス感染症	62,608	59,321	12,625

(3) 相談件数

(延人数)

病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新型コロナウイルス感染症	43,930	19,446	16,173

(4) 入院状況

(延人数)

病名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新型コロナウイルス感染症	1,560	866	346

5) 特定感染症検査 (HIV 除く) の実施

(件)

	令和4年度			令和3年度				令和2年度		
	計	男	女	計	男	女	無回答	計	男	女
梅毒	354	252	102	304	211	92	1	276	179	97
B型肝炎	355	252	103	304	211	92	1	284	181	103
C型肝炎	357	254	103	306	212	93	1	285	182	103

※B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

6) B型・C型ウイルス性肝炎治療費助成及び肝がん・重度肝硬変治療費助成受給者証認定状況

B型・C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロン治療、C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行う核酸アナログ製剤治療、及び肝硬変・肝がんに関し新たな治療方法の研究開発の促進その他治療水準の向上を図ることを目的に行う肝がん・重度肝硬変治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度である。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和4年度末現在認定者数 (人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
インターフェロン治療	0	0	0
インターフェロンフリー治療	30	23	10
核酸アナログ製剤治療	203	218	231
肝がん・重度肝硬変治療	1	1	0

5. エイズ対策

感染者や患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行った。

1) 保健所における HIV 抗体検査数

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
検査数	358	311	284
(夜間検査再掲)	87	77	75

2) 相談件数

(件)

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話
相談	1	32	2	23	1	50

※検査来所時の相談は含まず。

3) 啓発活動

(1) HIV 検査普及週間 (6月1日～6月7日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和4年6月1日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和4年6月8日(水) 17:30～19:00
- ② 市ホームページへの掲載
- ③ SNS 掲載 (Facebook、twitter)
- ④ 市ホームページのバナー広告掲載

(2) 世界エイズデー (12月1日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和4年12月7日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和4年12月14日(水) 17:30～19:00
- ② ホームページ掲載 (バナー広告)
- ③ 「世界エイズデー」ポスター掲示・配布 (配布先：市内学校(中学校、高等学校、専門学校、大学)、各地区市民センター等)
- ④ 拠点病院 (県立総合医療センター) にて啓発ポスター設置
- ⑤ 総合会館ロビーでのパネル展示 令和4年11月14日(月)～12月9日(金)
市内鉄道駅構内 (四日市あすなろう鉄道、近畿日本鉄道) にて啓発ポスター設置
- ⑥ 啓発ステッカーの掲示依頼
(配布先：市内コンビニエンスストア、大学・専門学校、地区市民センター等)
- ⑦ SNS 掲載 (Facebook、twitter)
- ⑧ 公用車への啓発ステッカー貼付
- ⑨ 働く世代へ情報を配信

(3) 性感染症に関する講座

性感染症の正しい知識の普及啓発を行うため、養護教諭等と連携協力し講座を開催
※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

(4) その他

- ① 医療機関にて啓発ポスターを掲示。
- ② 各地区市民センター、大学、専修学校に啓発ポスターの掲示、検査案内カードの配布。
- ③ 外国人向け啓発リーフレット(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)を国際交流センターへ配布、同センターのホームページに資料掲載。

V. 衛生指導課

1. 食品衛生

1) 食品営業・届出施設の監視指導状況

食の安全と安心を確保するために、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係事業者に対して監視指導を行った。令和3年6月1日施行の改正食品衛生法により義務化されたHACCPに沿った衛生管理の取組状況の確認に重点を置き、取扱食品の流通の広域性、製造量などから食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設を中心に監視指導を行った。

また、新制度への理解が進むよう、必要に応じて助言・指導した。

(1) 業種別監視数

①旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和4年度末 施設数	令和3年度末 施設数	令和4年度 監視施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数
飲食店営業	2,264	2,802	282	370	808
菓子製造業	321	390	58	52	167
乳処理業	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0
乳製品製造業	2	2	1	1	2
集乳業	0	0	0	0	0
魚介類販売業	104	119	71	52	106
魚介類せり売り業	3	3	2	1	0
魚肉ねり製品製造業	1	1	0	0	2
食品の冷凍冷蔵業	25	28	4	7	12
かん詰・びん詰製造業	11	12	0	1	3
喫茶店営業	205	245	21	15	35
あん類製造業	1	1	0	0	0
アイスクリーム類製造業	44	65	13	10	24
乳類販売業	0	0	0	0	88
食肉処理業	23	26	18	9	15
食肉販売業	78	92	40	39	132
食肉製品製造業	4	4	0	3	2
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0
食用油脂製造業	4	5	2	2	2
マーガリン・ショートニング製造業	0	0	0	0	0
みそ製造業	4	5	0	0	0
醤油製造業	1	1	0	0	0
ソース製造業	3	4	0	2	4
酒類製造業	6	6	3	2	1

豆腐製造業	3	4	1	2	0
納豆製造業	0	0	0	0	0
めん類製造業	18	21	4	6	8
総菜製造業	40	48	17	12	16
添加物製造業	16	18	3	5	4
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	3	5	0	2	3
氷雪製造業	2	3	0	1	0
氷雪販売業	0	0	0	0	0
計	3,186	3,910	540	594	1,434

②改正食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和4年度末 施設数	令和3年度末 施設数	令和4年度 監視施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数
飲食店営業	1,250	598	1,169	637	—
調理の機能を有する自動販売機による営業	7	1	6	1	—
食肉販売業	33	18	28	22	—
魚介類販売業	35	25	34	31	—
魚介類競り売り業	0	0	0	0	—
集乳業	0	0	0	0	—
乳処理業	0	0	0	0	—
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0	—
食肉処理業	7	6	1	7	—
食品の放射線照射業	0	0	0	0	—
菓子製造業	136	67	106	77	—
アイスクリーム類製造業	8	4	5	5	—
乳製品製造業	0	0	0	0	—
清涼飲料水製造業	5	1	6	1	—
食肉製品製造業	1	1	0	2	—
水産製品製造業	1	0	1	0	—
氷雪製造業	0	0	0	0	—
液卵製造業	1	1	0	0	—
食用油脂製造業	4	2	2	2	—
みそ又はしょうゆ製造業	6	5	2	6	—
酒類製造業	1	1	0	1	—
豆腐製造業	2	1	1	1	—

納豆製造業	0	0	0	0	—
麺類製造業	3	3	2	3	—
そうざい製造業	36	21	21	19	—
複合型そうざい製造業	1	1	1	1	—
冷凍食品製造業	1	1	0	2	—
複合型冷凍食品製造業	1	1	1	2	—
漬物製造業	5	3	2	3	—
密封包装食品製造業	9	5	7	6	—
食品の小分け業	9	7	4	8	—
添加物製造業	16	12	6	11	—
計	1,578	785	1,405	848	—

③ 届出を要する食品関係営業施設

		令和4年度末 施設数	令和3年度末 施設数	令和4年度 監視施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数
旧許可 業種で あった 営業	魚介類販売業 (包装)	89	102	6	9	—
	食肉販売業 (包装)	119	134	5	14	—
	乳類販売業	248	267	14	27	—
	氷雪販売業	4	4	0	0	—
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	431	262	7	0	—
販売業	弁当販売業	8	3	0	0	—
	野菜果物販売業	52	46	14	6	—
	米穀類販売業	27	26	0	0	—
	通信販売・訪問販 売による販売業	2	2	0	0	—
	コンビニエンス ストア	107	93	19	16	—
	百貨店、総合 スーパー	73	67	51	18	—
	自動販売機による販 売業(コップ式以外)	98	86	3	2	—
	その他の食料・ 飲料販売業	264	201	27	16	—
製造・ 加工業	15	14	1	5	—	

	いわゆる健康食品の製造・加工業	4	4	2	1	—
	コーヒー製造・加工業	18	13	1	1	—
	農産保存食料品製造・加工業	5	2	1	0	—
	調味料製造・加工業	4	4	2	1	—
	糖類製造・加工業	1	1	0	0	—
	精穀・製粉業	3	3	0	0	—
	製茶業	37	35	0	1	—
	海藻製造・加工業	1	1	1	0	—
	卵選別包装業	7	7	0	1	—
	その他の食料品製造・加工業	50	31	7	5	—
その他	行商	2	2	0	0	—
	集団給食施設 (20食以上)	157	148	39	14	—
	器具、容器包装の製造・加工業(合成樹脂)	17	17	0	0	—
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	2	0	0	0	—
	その他	3	1	0	0	—
計		1,848	1,576	200	137	—

(ランク別監視数)

項目 ランク	監視頻度 (目安)	対象施設数 (令和3年度末施設数)	令和4年度 監視数(件)	令和4年度 監視実施率(%)
A	1回以上/1年	295	307	104.1
B	必要に応じて	6,112	1,838	30.1

ランクA：食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設(大量調理を行う飲食店営業、大量調理を行う集団給食施設、大規模小売り店舗、広域流通させる製造業)等
 ランクB：A以外の施設

2) 食品等の収去検査等実施状況

市内において生産、製造、加工及び販売される食品等の抜き取り検査（収去検査）を行い、食品衛生法、食品表示法に定める規格基準等に基づき指導を行うことで不良・違反食品を排除し、食中毒、食品事故の未然防止に努めるとともに、事業者の自主衛生管理の強化を図った。

令和4年度は、収去検査を275件実施した結果、四日市市食品の衛生管理指標に基づく不適合が11件判明したため、その製造業者に対する指導等により改善確認を行った。

(乳以外の食品の収去検査)

分類 \ 項目	令和4年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	市指標 不適件数	令和3年度 収去検体数	令和2年度 収去検体数
魚介類	10	0	0	1	10	10
魚介類加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	10	0	0	0	11	14
肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	12	0	0	0	15	12
乳製品	0	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	20	0	0	1	11	11
野菜・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	29	0	0	0	29	25
菓子類	29	0	0	5	33	33
清涼飲料水	0	0	0	0	2	0
かん詰・びん詰食品	4	0	0	0	2	0
その他の食品	161	0	0	4	154	94
器具及び容器包装	0	0	0	0	1	1
合計	275	0	0	11	268	200

(乳の収去検査)

分類 \ 項目	令和4年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	令和3年度 収去検体数	令和2年度 収去検体数
牛乳	0	0	0	2	2
合計	0	0	0	2	2

(拭取り検査・ATP検査)

分類 \ 項目	令和4年度 収去検体数	令和3年度 収去検体数	令和2年度 収去検体数
器具等拭取検査	34	40	24
器具等ATP検査	99	202	10

3) 食品等の要望・申出・相談・調査対応状況

「食品を食べて体調を崩した。」、「食品中に異物（虫、毛等）が入っていた。」など市民からの相談に対して食品等の調査を実施した。また、広域的な食中毒事案の際や不良食品等の調査については、関係の都道府県、政令市等と緊密な情報交換を行い、その原因究明と被害拡大防止に努めた。

(要望・申出・相談・調査件数)

分類	項目	有症者・	食品要望	表示相談・	合 計
		食中毒(疑いを 含む) 相談・ 調査件数	申出・相談 ・調査件数	調査件数	
内 訳	当市での対応	27	43	22	92
	市外から調査依頼	8	4	1	13
	市外への調査依頼	6	1	0	7
令和4年度		41	48	23	112
令和3年度		28	43	10	81
令和2年度		29	64	10	103

4) 食中毒の発生

令和4年度の食中毒件数は、0件でした。

5) 食中毒警報

令和4年度は、食中毒警報を2回発令した。発令時には関係機関に情報提供を行うとともに、掲示板、立て看板、ホームページ、安全安心防災メール、市内ケーブルテレビのデータ放送にて情報発信した。

令和4年度	発令 基準※	令和3年度	発令 基準※	令和2年度	発令 基準※
発令月日		発令月日		発令月日	
6月27日	(3)	7月19日	(1)	8月5日	(1)
8月1日	(1)	8月4日	(1)	8月17日	(1)

※食中毒警報発令基準

- (1) 気温30℃以上が10時間以上継続することが予想される場合
- (2) 気温25℃以上で相対湿度90%以上が10時間以上継続することが予想される場合
- (3) 24時間以内に急激に気温が上昇し、その差が10℃以上を超えることが予想される場合
- (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、食中毒及び感染症の発生状況等を勘案し、特に必要があると認める場合

警報の有効期間：警報発令後48時間

6) 食品衛生知識の普及啓発

食品等事業者に対し、食品衛生講習会を定期的に開催し、食中毒予防やHACCPに沿った衛生管理について説明した。また、市民への食品衛生知識の普及啓発などを目的として、講習会等を実施した。

さらに、「広報よっかいち」に食中毒予防に係る啓発記事を掲載すると共に、8月17日には大型複合施設1店舗において、四日市食品衛生協会と協働し食中毒防止の注意喚起や啓発物品を配布して幅広く食中毒防止について普及啓発を行った。

(食品衛生講習会等の実施状況)

講習会対象者	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
食品事業者	26	973	28	1,168	28	1,018
給食関係従事者	2	141	1	160	0	0
食生活改善推進員	3	78	1	58	2	47
消費者	5	132	1	20	3	73
その他	1	270	0	0	0	0
合計	37	1,594	31	1,406	33	1,138

2. 獣医務衛生

狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録や狂犬病予防注射などを動物病院と連携して実施した。また、係留されていない犬の捕獲等を行うことで狂犬病の被害防止に努めた。

また、動物の愛護及び管理に関する法律及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬等による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行った。

動物の愛護と生活環境の保全を両立した「人と動物の共生できる社会」の実現を目指し、地域住民等が餌やり等の管理をしている飼い主のいない猫に対し、避妊去勢手術費用の補助を行い、地域環境の維持に努めた。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況

(頭)

	登録数			注射頭数		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録頭数	18,332	19,452	19,493			
新規登録数	1,312	1,390	1,312			
総注射頭数				13,954	14,070	14,001
集合注射頭数				1,133	1,208	1,271
家庭注射頭数				12,821	12,862	12,730

2) 動物による咬傷事故状況 (届出件数)

	犬	犬以外
令和4年度	11	0
令和3年度	7	0
令和2年度	7	0

3) 第一種動物取扱業届出数及び監視状況

(件)

		総施設数	区分						計	
			販売	保管	貸出	訓練	展示	譲受飼養		競りあっせん
令和4年度	登録数	96	48	60	3	9	7	1	0	128
	監視数	35	19	23	2	2	5	1	0	52
令和3年度	登録数	98	54	58	3	10	6	1	0	132
	監視数	36	19	21	0	3	4	1	0	48
令和2年度	登録数	97	54	58	3	9	5	1	0	130
	監視数	21	7	16	0	2	0	3	0	28

4) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況

(頭)

		捕獲	引取	返還	譲渡	殺処分※			
						①	②	③	計
令和4年度	犬	36	28	54	10	0	0	0	0
	猫	-	60	2	32	5	0	21	26
令和3年度	犬	36	25	48	12	0	0	1	1
	猫	-	69	0	34	2	0	33	35
令和2年度	犬	32	25	45	11	1	0	0	1
	猫	-	81	2	26	4	8	41	53

※殺処分の内訳

- ① 譲渡することが適切ではない (治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等)
- ② ①以外の処分 (譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難)
- ③ 引取り後の死亡 (病気、老齢、幼齢等のため死亡した動物)

5) 犬及び猫等の相談・問い合わせ状況

(件)

	令和4年度			令和3年度		
	犬	猫	その他の動物	犬	猫	その他の動物
飼い方指導依頼 (糞尿・放し飼い・鳴き声等)	108	64	5	93	73	6
野犬・放浪犬保護依頼	71	-	-	66	-	-
負傷・死亡収容(36条)依頼	7	51	13	6	40	3
引取り(35条)依頼	43	64	6	36	83	7
失踪照会	96	124	8	191	114	10
その他	314	293	60	220	275	48
TNR依頼	-	9	-	-	6	-
動物取扱業に関する通報			0			21
特定動物に関する通報			0			0
人獣共通感染症に関する相談			18			5
ペット防災に関する相談			5			2
犬の登録注射に関すること			1,475			1,332
避妊去勢手術補助に関すること			308			233

6) 飼い主のいない猫の避妊等手術補助金交付事業実施状況

(件)

	飼い主のいない猫			飼い犬			飼い猫		
	メス	オス	計	メス	オス	計	メス	オス	計
令和4年度	347	310	657	233	273	506	384	406	790
令和3年度	344	261	605	265	258	523	450	438	888
令和2年度	444	272	716	249	252	501	470	453	923

3. 生活衛生

市民が安心して施設を利用できるよう、専門的な観点から理容所、美容所、公衆浴場などの生活衛生関係施設の監視を行い、自主的な衛生管理の推進を図った。

(営業施設数及び監視件数等の状況)

	施設数 (令和4年 4月1日現在)	開設数	令和4年度 監視件数	令和3年度 監視件数	令和2年度 監視件数
		廃止数			
理容所	235	4 8	14	16	53
美容所	647	29 14	81	112	132

クリーニング所	工場 40	0 0	工場 3	工場 11	工場 15
公衆浴場	29	0 2	3	6	16
興行場	8	0 0	2	1	1
旅館業	70	2 0	5	38	14
総数	1,029	35 24	108	184	231

4. 薬務

1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等に基づく指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」や「毒物及び劇物取締法」等の関係法令に基づき、医薬品や毒物及び劇物を取り扱う事業者に対して、監視指導を行い、医薬品の安全性、適正な流通の確保を図るとともに、毒物及び劇物の取扱いの徹底を図ることによる健康被害や事故の発生防止に努めた。

(薬務六法に基づく施設数及び監視数)

業種		事項	許可・届出数	令和4年度 監視数	令和3年度 監視数	令和2年度 監視数
医薬品	薬局		158	103	96	68
	薬局製造医薬品製造業		9	7	3	2
	薬局製造販売業		9	7	3	2
	店舗販売業		61	38	25	19
	業務上取り扱う施設			8	9	10
医薬部外品	販売業			108	120	68
	業務上取り扱う施設			7	11	11
化粧品	販売業			81	65	52
	業務上取り扱う施設			2	1	4
医療機器	販売業	高度管理医療機器等	155	76	83	50
		管理医療機器	797	148	148	89
		一般医療機器		148	148	89
	貸与業	高度管理医療機器等	92	57	51	37
		管理医療機器	56	75	64	43
		一般医療機器		75	64	43
	業務上取り扱う施設			8	10	11

毒物劇物	一般販売業	207	75	71	42	
	農薬用品目販売業	19	5	10	7	
	特定品目販売業	3	1	1	1	
	業務上取扱者	電気メッキ	2	1	1	0
		運送業	16	5	6	2
非届出業務上取扱者			17	11	13	
麻 薬	小売業		96	86	65	
	病院		6	5	5	
	一般診療所		2	4	6	
	家畜診療所		0	1	0	
覚醒剤原料	薬局		103	96	64	
	病院 / 診療所 / 家畜診療所		8	10	11	
総	数	1,584	1,267	1,203	814	

2) 薬物乱用防止普及・啓発活動等

(1) 不正大麻・けし撲滅運動（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、市民に対し「植えてはいけないけしの花」チラシの組回覧及びポスター、リーフレット（厚生労働省編、けし・大麻の見分け方）の配布による普及啓発を図るとともに、その発見除去に努めた。

管内における自生けしの実見は61箇所、10,847本あり、除去焼却した。

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（令和4年6月20日～令和4年7月19日）

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物乱用防止啓発運動を実施した。

① 運動期間中の活動

街頭啓発：令和4年7月17日 近鉄四日市駅北口ふれあいモール

啓発資材の配付とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

参加者：43人 啓発者数：2,500人

② 運動期間以外の活動

(ア) 啓発キャンペーン：ダメ。ゼッタイ！。薬物乱用防止啓発キャンペーン 四日市大会

地域住民と連携し、薬物乱用防止に関するクイズ大会の実施や乱用薬物に関するパネルコーナー等を設け来場者に対して啓発活動を実施した。

実施日：令和4年4月3日 蓮光寺（富田地区）

参加者：180人

啓発者数：1,500人

(イ) 街頭啓発：近鉄四日市駅北口ふれあいモール

啓発資材の配布とプラカードによる呼びかけを行い、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

実施日：令和4年8月7日

(ウ)啓発キャンペーン： 四日市市民公園「おまつり広場」

薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を披露し、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

実施日：令和4年8月7日

参加者：48人

啓発者数：1,500人

(エ)よんてつ(四日市徹夜踊りの祭典)：四日市ドーム

薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を来場者と一緒に踊り、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

実施日：令和4年9月10日

参加者：23人

啓発者数：8,000人

(3) 薬物乱用防止教室の推進

薬物乱用防止教室を希望する市内小学校・中学校について教育委員会と連携し学校薬剤師、ライオンズクラブ等に講師要請を行った。また、各種講習会や薬物乱用防止教室において薬物乱用防止普及啓発に努めた。

- ・ 「薬物乱用防止教室への講師派遣」：19件
- ・ 「各種講習会における薬物乱用防止啓発」：41件

(4) 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動

①麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動（期間：令和4年10月1日～令和4年11月30日）

(ア)街頭啓発：近鉄四日市駅北口ふれあいモール

名古屋税関四日市税関支署・四日市海上保安部と合同で実施し、啓発資材の配付とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

実施日：令和4年11月17日

参加者：33人

啓発者数：2,000人

(5) その他の啓発活動

広報よっかいち「きらり四日市人」、CTY-FM「わいわい人探訪」、CTY「ケーブルNews(市政情報コーナー)」において、薬物乱用防止啓発放送を行った。年間を通し、地域でのお知らせ等日本語のみならずポルトガル語等も含め啓発を行った。

VI. 食品衛生検査所

1. 食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査を実施した。精密検査が必要な場合は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の検査を実施し合否判定を行った。

と畜検査頭数 (頭)

年 度	牛	豚
令和 4 年度	3,919 (とく※8 含む)	94,632
令和 3 年度	3,901 (とく※4 含む)	93,213
令和 2 年度	3,924 (とく※3 含む)	90,663

※とく…1 歳未満の牛のこと

2) 食鳥検査 (立入検査)

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 38 条に基づき、認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行った。

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
認定小規模処理施設数(ヶ所)	2	2	2
監視件数(件)	2	2	2
収去検査件数(件)	2	1	2

3) 食肉安全対策

と殺・解体工程、枝肉、冷蔵庫及び食肉処理室等の細菌汚染調査を行った。検査結果に基づき、と畜場・食鳥処理施設の衛生指導を実施した。また、と畜場の衛生管理について外部検証を実施した。

(件)

検査項目	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
腸管出血性大腸菌 (O157)	65	111	107
サルモネラ	5	169	183
カンピロバクター	5	3	6
一般生菌数	254	238	319
大腸菌群数	0	108	319
腸内細菌科菌群数	254	100	0
合 計	583	729	934

2. 試験検査

1) 牛海綿状脳症（BSE）検査

と畜場に搬入された24か月齢以上の牛のうち、生体検査において神経症状が疑われるもの及び全身症状を呈するものについてBSEの検査を実施した。

BSE 検査結果 (頭)

年 度	検査数	陰性数
令和4年度	0	0
令和3年度	0	0
令和2年度	0	0

2) 畜産食品残留有害物質検査

食肉及び食鳥肉の残留抗菌性物質等の検査を実施した。

(件)

検査項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
抗生物質	318	331	300
合成抗菌剤	27	18	9
テトラサイクリン類	27	18	9
内部寄生虫薬	26	18	8
合計	398	385	326

3. 衛生検査

1) 食品衛生関連検査

(1) 食品収去 規格基準検査・衛生管理指標検査

(件)

検体種別	令和4年度			令和3年度 検体数	令和2年度 検体数
	検体数	不適合件数			
		指標	規格		
生食用魚介類	10	2	0	8	8
生食用かき	0		0	2	2
魚肉練り製品	10		0	10	10
食肉製品	10		0	10	10
豆腐	2	0		5	5
生洋菓子	18	4		20	20
生和菓子	10	1		10	10
調理ご飯	30	2		20	30
調理パン	20	0		20	20
漬物	10	0		10	10
生めん	5	0		3	2
ゆでめん	15	1		7	8
惣菜	59	3		59	41
学校給食	46	0		48	0
計	245	13	0	232	176

(2) 食中毒及び有症苦情の微生物検査

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
検体数		61	92	199
陽性内訳	ノロウイルス	1	25	26
	サルモネラ属菌	0	0	22
	カンピロバクター属菌	2	4	5
	黄色ブドウ球菌	2	0	2
	アニサキス	0	0	1
	セレウス菌	2	0	0

(3) 毒物迅速検査

(件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
検体数	0	1	0

2) 感染症関連検査

(1) 感染症血清学的検査

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
検体数		359	312	285
内 訳	H I V	358(1)	311(2)	284
	H B s A g	355	304	284(2)
	H C V	357(2)	306(2)	285
	S T S	354(3)	304(5)	276(6)
	T P	354(20)	304(14)	276(12)

※ ()内は陽性件数

(2) 感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査

(件)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
検体数		74	51	30
内 訳	腸管出血性大腸菌	53(9)	17(2)	27(5)
	腸チフス	15	0	3
	細菌性赤痢	0	23(3)	0
	食中毒細菌	0	8	0
	ノロウイルス	6(1)	11(4)	0
	アデノウイルス	1	11	0
	ロタウイルス	1	11	0

※ ()内は陽性件数

Ⅶ. こども保健福祉課

1. 母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することで、母並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図った。

交付者数（人）

令和4年度	令和3年度	令和2年度
2,290	2,393	2,362

(2) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施して、安全な分娩と健康な児の出生を支援した。また、里帰り出産等のために、県外で妊婦健康診査を受診した場合の、受診費用の補助を行った。

① 県内医療機関受診者数（人）

年 度	妊 娠 届出者数	① 1～5 回目	② 6～14 回目	合計（①+②）
		総受診者数	総受診者数	総受診者数
令和4年度	2,157	10,358	14,531	24,889
令和3年度	2,277	10,852	15,631	26,483
令和2年度	2,266	10,474	14,668	25,142

② 県外医療機関等受診費用補助申請件数（件）

年 度	補助申請件数（件）
令和4年度	311
令和3年度	324
令和2年度	349

③ 県外医療機関等受診費用補助回数（回）

年 度	補助申請回数（回）
令和4年度	1,224
令和3年度	1,332
令和2年度	1,430

(3) 多胎児妊婦健康診査費用補助事業

多胎児妊娠中の妊婦が、通常の14回分の妊婦健康診査に加えて、検査などのために要した健診費用の助成を行った。(令和3年4月開始)

補助申請件数

年度	申請件数(件)	妊婦実人員(人)
令和4年度	6	6
令和3年度	3	2

(4) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行った。(年間20回開催：うち10回は日曜日に開催)

参加者数(人)

年度	妊婦	家族	合計
令和4年度	275	269	544
令和3年度	221	219	440
令和2年度	245	233	478

(5) 産前・産後サポート事業

妊産婦および乳児の母親を対象に、電話相談、来所相談、訪問指導等を実施することにより、悩みや不安等を解消し、産前産後に安心して生活が送れるよう支援した。

相談件数(件)

年度	産前			産後			合計
	電話	訪問	その他	電話	訪問	その他	
令和4年度	276	9	86	26	104	1	502
令和3年度	316	1	76	35	100	0	528
令和2年度	358	0	98	27	88	0	571

(6) 妊婦新型コロナウイルス感染症検査費用補助事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、自身だけでなく胎児及び新生児の健康等について強い不安を抱えながら生活を送っている妊婦の不安を解消するため、本人の希望によって、新型コロナウイルス感染の有無を確認するために、出産前にPDR検査を実施した場合の検査費用を助成した。(令和2年8月15日より実施)

(件)

年度	検査実施者数	うち陽性者	うち陰性者	うち不明
令和4年度	624	2	618	4
令和3年度	658	0	652	6
令和2年度	327	0	327	0

(7) 産婦健康診査事業

産後 2 週間頃、産後 1 か月頃の時期に、母体の回復状況や授乳状況、精神状態を把握し、早期に必要な支援につなぐことで、産後うつ等を予防するため、産科医療機関等に委託して、健康診査を実施した。

① 県内医療機関受診件数 (件)

	実施時期	受診件数	うち EPDS9 点以上 または 質問項目 10 番 1 点以上件数
令和 4 年度	産後 2 週間	1,455	155 (10.7%)
	産後 1 か月	1,941	174 (9.0%)
	計	3,396	329 (9.7%)
令和 3 年度	産後 2 週間	1,302	133 (10.2%)
	産後 1 か月	2,005	186 (9.3%)
	計	3,307	319 (9.6%)
令和 2 年度	産後 2 週間	1,158	139 (12.0%)
	産後 1 か月	1,902	216 (11.4%)
	計	3,060	355 (11.6%)

② 県外医療機関等受診費用補助申請人数 (人)

年度	補助申請人数
令和 4 年度	181
令和 3 年度	206
令和 2 年度	189

③ 県外医療機関等受診費用補助回数 (回)

年度	補助申請回数 (回)	うち EPDS9 点以上 + 質問項目 10 番 1 点以上件数 (件)
令和 4 年度	286	25
令和 3 年度	317	32
令和 2 年度	284	20

④ 県内医療機関＋県外医療機関受診状況（合計）

	実施時期	受診件数 (件)	うち EPDS9 点以上 または 質問項目 10 番 1 点以上件数 (件)
令和 4 年度	産後 2 週間	1,560	175 (11.2%)
	産後 1 か月	2,122	202 (9.5%)
	計	3,682	377 (10.2%)
令和 3 年度	産後 2 週間	1,433	149 (10.4%)
	産後 1 か月	2,211	194 (8.8%)
	計	3,644	343 (9.4%)
令和 2 年度	産後 2 週間	1,253	156 (12.5%)
	産後 1 か月	2,091	233 (11.1%)
	計	3,344	389 (11.6%)

(8) 1 か月健康診査費用補助事業

生後おおむね 1 か月経過した児を対象に、医療機関等で実施する健康診査にかかる費用の一部を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、早期に子どもの健康状態を把握して必要な支援につなげた。(令和 4 年 4 月開始)

① 補助件数 (件)

	県内	県外還付	合計
令和 4 年度	1,881	164	2,045

② 県内医療機関受診分の結果 (件)

	異常なし	要指導	要観察	要精査	要治療	治療観 察中	合計
令和 4 年度	1,757	17	57	15	6	29	1,881

(9) 新生児聴覚スクリーニング検査費用補助事業

聴覚に関する異常の早期発見及び早期対応を図るために、生後間もない時期の新生児または乳児に対して実施する新生児聴覚スクリーニング検査に要する費用の一部を助成した。

① 補助件数 (全員に対して補助:令和 4 年 4 月開始) (件)

	県内	県外還付	合計	リファー児
令和 4 年度	1,680	162	1,842	15

② 生活保護世帯及び市民税非課税世帯への補助

経済的な理由で、出生後に新生児聴覚スクリーニング検査を受けられず、先天性難聴の発見が遅れることがないように、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の人に対して、検査費用の助成を行った。(平成 28 年 4 月開始)

補助件数（件）

年 度	所得状況	申請件数	交付件数
令和4年度	生活保護受給世帯	0	0
	非課税世帯	0	0
	課税世帯（対象外）	0	0
	合 計	0	0
令和3年度	生活保護受給世帯	9	4
	非課税世帯	2	2
	課税世帯（対象外）	0	0
	合 計	11	6
令和2年度	生活保護受給世帯	12	10
	非課税世帯	2	2
	課税世帯（対象外）	0	0
	合 計	14	12

（10）産後ケア事業

心身ともに不安定になりやすい産後1年未満の時期に、家族から援助を受けることができず、育児支援を必要とする母子に対して、家庭訪問や医療機関（三重県助産師会、医療機関に委託）等の施設にて、助産師等による、乳房管理や沐浴を含む心身のケアおよび育児サポートを行った。

（平成29年10月に訪問型を開始、令和3年4月から利用期間を産後1年に拡大、令和3年7月からデイケア型と宿泊型を開始した。利用回数は産後1年の間に7回まで）

○利用内訳（延べ人数）

（ ）内は実人員

年 度	訪問型	デイケア型	宿泊型	合計利用回数（延べ回数）（回）	利用決定件数（件）
令和4年度	260（116）	317（107）	56（14）	633	208（※1）
令和3年度	148（67）	128（43）	3（2）	279	107（※2）
令和2年度	170（47）			170	50（※3）

※1 うち6人は利用なし、前年度から継続29

※2 うち13人は利用なし、前年度から継続9

※3 うち3人は利用なし、前年度から継続1

（11）多胎児産後ケア事業

多胎児育児の負担や不安の軽減を図るため、多胎児家庭に助産師が訪問し、心身のケアや育児サポートを行った（三重県助産師会に委託）。（令和4年4月開始）

○利用内訳

年 度	利用者数（人）	延べ件数（件）
令和4年度	9	22

(12) 出産・子育て応援事業

妊娠届出時より、妊婦や子育て家庭に寄り添い、妊婦や子育て家庭に寄り添って相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担を軽減するための経済的支援（計10万円）の一体的実施を開始した。（令和5年3月開始）

① 妊娠届出時の保健師等面談実施件数 (件)

年度	こども保健福祉課 窓口にて面談	オンライン面談 (スマートフォンによる)	計
令和4年度 (3月分)	97	71	168

② 出産・子育て応援金給付件数 (件)

年度	出産応援金 (※1)	子育て応援金 (※2)
令和4年度 (3月分)	99	1

※1 令和5年3月1日以降に妊娠届出をした妊婦に対して5万円支給

※2 令和5年3月1日以降に出生届出をした子の養育者に対して5万支給

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4か月児、10か月児を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施し、成長の確認とともに、障害等を早期に発見して必要な支援につなげた。

受診者数（人）

年度	4か月児			10か月児		
	対象者数	受診者数	受診率 (%)	対象者数	受診者数	受診率 (%)
令和4年度	2,182	2,141	98.1	2,272	2,166	95.3
令和3年度	2,194	2,132	97.2	2,125	2,039	96.0
令和2年度	2,250	2,194	97.5	2,357	2,302	97.7

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に健康診査を実施し、心身の障害等を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。（年間36回開催）

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和4年度	2,057	2,011	660	32.8	97.8
令和3年度	2,359	2,281	782	34.3	96.7
令和2年度	2,312	2,262	714	31.6	97.8

（3）3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、視聴覚、運動・発達等心身障害やその他疾病等の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。（年間36回開催）

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和4年度	2,278	2,198	238	10.8	96.5
令和3年度	2,391	2,253	214	9.5	94.2
令和2年度	2,387	2,299	184	8.0	96.3

（4）乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図った。必要な場合には専門機関の紹介を行った。

相談者数(人)

年 度	心身の発達相談数	育児不安相談数	合計
令和4年度	497	2	499
令和3年度	452	4	456
令和2年度	426	1	427

（5）親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞・発達障害や育児不安が疑われる児と保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、児の発達を促すための適切な関わり方を学ぶ機会を設け、育児不安の解消を図った。

① 親子教室「ラッコ」参加者数（人）：概ね1歳6か月から2歳6か月頃の児。

（年間12回開催）

年 度	実人員	延人員
令和4年度	41	103
令和3年度	44	81
令和2年度	48	101

① 親子教室「イルカ」参加者数（人）：概ね2歳6か月以上の幼児。

（年間12回開催）

年 度	実人員	延人員
令和4年度	39	100
令和3年度	31	66
令和2年度	35	88

3) 育児支援

(1) 育児相談室 すくすくルーム

妊娠期から、子育て期にわたる様々な不安や悩みについて、気軽に立ち寄り保健師や看護師に相談できる場として「すくすくルーム」を開設。必要な指導、助言を行った。

相談者数（人）

※平成28年4月開設

年 度	相談者数		
	乳 児	幼 児	合計
令和4年度	889	507	1,396
令和3年度	834	437	1,271
令和2年度	707	500	1,207

(2) 妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、随時、必要な指導助言を行った。

相談者数（人）

年 度	総数	相談状況内訳	
		来所相談	電話相談
令和4年度	13,304	1,651	11,653
令和3年度	12,724	1,087	11,637
令和2年度	13,523	1,037	12,486

(3) 訪問指導

①妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、妊娠、出産、育児等を支援した。

②新生児訪問指導（生後 28 日未満の児）

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援した。

③乳幼児訪問指導

生後 28 日以降の乳児で、訪問希望または、育児等に支援を必要とする児を中心に日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援した。

実施者数（人）：市内に住所のある人

年 度	妊 婦		産 婦		新生児 (未熟児を除く)		乳児(新生児、 未熟児を除く)	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
令和 4 年度	91	101	815	1,281	150	177	2,101	2,595
令和 3 年度	62	71	777	1,631	172	249	1,955	2,803
令和 2 年度	61	74	824	1,477	152	222	1,936	2,653

未熟児(※)		幼 児		その他		合 計	
実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
224	301	125	172	46	48	3,552	4,675
195	245	148	250	3	10	3,312	5,259
173	236	158	245	2	2	3,306	4,909

(4) こんにちは赤ちゃん訪問事業

おおむね生後 4 か月に達するまでの乳児がいる家庭を、保健師、助産師、看護師及びこんにちは赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供に結びつけた。

実施者数（人）（※訪問指導より、再掲）

年 度	実人員	内 訳				うち市とこ んにちは赤 ちゃん訪問 員が重ねて 訪問した者
		市スタッフ		こんにちは赤ちゃん訪問員		
		実人員	うち継続 支援者	実人員	うち継続 支援者	
令和 4 年度	2,263	753 (32.8%)	483	1,541 (67.2%)	208	31 (再掲)
令和 3 年度	2,249	730 (32.5%)	462	1,519 (67.5%)	261	29
令和 2 年度	2,241	814 (36.3%)	580	1,427 (63.7%)	217	23

※実施者数は対象者数（転居、不在、死亡等含む）

(5) 乳幼児食教室

乳幼児の保育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援した。

(年間 30 回開催)

参加者数 (組)

年度	前期 (5~8 か月児)	後期 (9~12 か月児)	合計
令和 4 年度	265	150	415
令和 3 年度	164	81	245
令和 2 年度	261	115	376

(6) パンダひろば

生後 6 か月未満の乳児と保護者を対象に、同年代の子どもを持つ親同士がお互いに育児に関する不安や悩みを共有し、仲間づくりのきっかけとなる教室を開催した。(年間 12 回)

参加者数 (組)

令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
390	354	288

(7) さくらんぼひろば

未就園の多胎児とその保護者を対象に、保護者同士が、多胎児育児の悩みや不安、および多胎児を育てる喜びや楽しみを共有することで、多胎児育児の負担の軽減となる教室を開催した。

(年間 12 回)

参加者数 (組)

年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
組	74	43	56
人数	237	134	185

4) 子どもの歯を守るために

(1) 妊婦歯科幼児歯科健康診査

妊婦に対する歯科健康診査を実施することにより、妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上を図り、また幼児に対する歯科健康診査とフッ素塗布を実施することにより、乳歯の歯質の強化とう蝕予防を図った。(令和 3 年 4 月開始)

受診者数 (人)

年度	妊婦歯科健康診			幼児歯科健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
令和 4 年度	2,288	710	31.0	2,326	957	41.1
令和 3 年度	3,944	910	23.1	4,732	1,537	32.5

(2) 1歳のバースデー歯科教室

10 か月から1歳4か月未満の乳幼児と保護者を対象に、萌出間もない乳歯を含む口腔清掃方法の指導およびむし歯予防の啓発を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(年間25回開催)(令和3年4月開始)

参加者数

	令和4年度	令和3年度
組	299	225
子ども(人)	301	228
保護者(人)	334	241

(3) 2歳のバースデー歯科教室

2歳0か月から2歳4か月未満の幼児と保護者を対象に、むし歯予防の啓発と指導、希望者に対するフッ化物応用を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(年間24回開催)(令和3年4月開始)

参加者数

	令和4年度	令和3年度
組	232	119
子ども(人)	234	121
保護者(人)	257	135

5) 地域での子育て支援

(1) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、子育て支援センターなど身近な育児の交流の場へ、保健師や看護師、栄養士が出向いて育児相談を行いました。関係機関や民生児童委員らと連携した育児支援を行うことにより、育児不安の解消を図った。

参加者数（人）

事業名	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数
子育て支援C (保育園併設型)	41		176	22		98	51		216
子育て支援C (単独型)	16		77	18		41	20		82
民生委員 児童委員主催等	16		46	3		8	9		32
保育園あそぼう会	1		7	3		15	2		10
幼稚園あそび会	0		0	0		0	0		0
保健師相談計	74		306	46		162	82		340
管理栄養士相談	32		144	17		70	31		131
管理栄養士 依頼による教育等	4		22	0		0	0	0	0
歯科医師・歯科衛生士 地区依頼	2	14	7	1	2	2	2	34	6

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月、9月は一部中止

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行った。教室は年間1回開催し、啓発は、健診や相談の機会に随時行った。

参加者数（人）

年度	参加者数	内訳			
		乳児同伴	幼児同伴	妊婦のみ	保護者
令和4年度	21	5	4	0	12
令和3年度	23	1	6	0	16
令和2年度	36	9	3	0	24

7) 中学生ピロリ菌検査事業

日本の胃がんの95%を原因とされているピロリ菌感染の有無を、胃粘膜の萎縮のない若い世代のうちに確認し、除菌治療につなげることで、将来の胃がん発生を予防するため、義務教育年齢である中学3年生に対して、学校検尿などを利用したピロリ菌検査を実施した。(令和3年度から実施)

年度	対象者数	1次検査				2次検査			
		受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)	受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数	陽性率 (陽性者/ 受診者数)
令和4年度	2,849	2,534	88.9% (2,534/2,849)	136	5.4% (136/2,534)	94	69.1% (94/136)	35	37.2% (35/94)
令和3年度	3,045	2,688	88.3% (2,688/3,045)	98	3.6% (98/2,688)	56	57.1% (56/98)	23	41.1% (23/56)

2. 予防接種事業

1) 四日市市予防接種運営委員会

予防接種事業の円滑な運営及び予防接種事故の防止を図るため協議会を開催した。

(1) 運営委員会及び向上部会

開催日	委員会・部会	議事
令和5年1月20日(金)	四日市市予防接種運営委員会 第1回予防接種率向上部会	令和4年度予防接種実績報告 令和5年度予防接種予定について

※令和4年8月3日(水)に四日市市予防接種運営委員会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止した。

(2) 健康被害調査専門部会

開催日	委員会・部会	議事
令和4年4月27日(水)	第1回予防接種健康被害調査専門部会(書面開催)	新型コロナウイルス感染症ワクチンにおける健康被害調査
令和4年7月6日(水)	第2回予防接種健康被害調査専門部会(書面開催)	新型コロナウイルス感染症ワクチンにおける健康被害調査
令和4年12月5日(月)	第3回予防接種健康被害調査専門部会(書面開催)	新型コロナウイルス感染症ワクチンにおける健康被害調査

令和5年3月24日(金)	第4回予防接種健康被害調査 専門部会（書面開催）	新型コロナウイルス感染症ワクチンに おける健康被害調査
--------------	-----------------------------	--------------------------------

2) 予防接種者数と接種率について

接種状況

		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
		接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)
ヒブ	1回目	2,183	100.0	2,208	102.6	2,172	92.5
	2回目	2,165	99.2	2,196	102.0	2,237	95.3
	3回目	2,147	98.4	2,126	98.8	2,313	98.6
	4回目	2,109	98.0	2,126	90.6	2,605	110.5
小児用肺炎 球菌	1回目	2,183	100.0	2,208	102.6	2,166	92.3
	2回目	2,169	99.4	2,201	102.3	2,206	94.0
	3回目	2,146	98.3	2,126	98.8	2,280	97.1
	4回目	2,136	99.3	2,085	88.8	2,443	103.6
B型肝炎	1回目	2,175	99.1	2,203	98.2	2,167	90.7
	2回目	2,153	98.1	2,193	97.8	2,204	92.3
	3回目	2,122	96.7	2,002	89.3	2,354	98.6
四種混合	1回目	2,188	100.2	2,210	102.7	2,196	93.6
	2回目	2,161	99.0	2,143	99.6	2,271	96.8
	3回目	2,159	98.9	2,107	97.9	2,320	98.8
	追加	1,952	90.7	2,230	95.0	2,479	105.1
二種混合（ジフテリア、破傷風）学童		2,020	73.3	2,217	81.5	2,472	89.7
不活化 ポリオ	1回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3回目	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	追加	0	0.0	0	0.0	0	0.0
BCG		2,182	99.4	2,064	92.0	2,308	96.6
麻しん 風しん混合 (MR)	1期	2,144	97.4	2,053	98.9	2,382	101.8
	2期	2,353	94.4	2,458	95.0	2,367	96.6
水ぼうそう	1～2歳児 1回目	2,114	96.0	2,031	97.9	2,416	103.2
	1～2歳児 2回目	1,816	82.5	2,205	106.3	2,257	96.5
麻しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0

風しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
日本脳炎	1期1回目	2,435	105.0	1,698	71.7	2,968	119.4
	1期2回目	2,295	99.0	1,798	75.5	3,080	123.9
	1期追加	3,089	131.6	1,397	55.9	2,734	106.2
	2期	3,821	141.6	1,332	49.5	3,318	120.3
HPV (子宮頸がん予防)	1回目	1,441	/	592	44.2	311	2.33
	2回目	1,393	/	512	38.2	201	15.0
	3回目	1,132	/	461	35.0	88	6.6
ロタリックス	1回目	1,668	76.0	1,703	75.9	717	30.0
	2回目	1,668	76.0	1,700	75.8	566	23.7
ロタテック	1回目	469	21.4	484	21.6	254	10.6
	2回目	459	20.9	475	21.2	210	8.8
	3回目	456	20.8	483	21.5	161	6.7
合計		65,103	/	58,018	/	63,224	/

* 日本脳炎予防接種の特例について。

平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた者で、20歳未満にある者は、第1期、第2期の不足分を接種可能。平成19年4月2日から平成21年10月1日に生まれた者は、9歳以上13歳未満で、第1期の不足分を接種可能。

* 日本脳炎ワクチンは、令和3年度の一部の期間において供給が見合わせられ、第1期1回目、2回目の接種優先とされていた。

* HPV ワクチンは、平成25年6月から積極的な勧奨を一時的に差し控えていたが、令和3年11月、「積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、令和4年2月以降積極的勧奨を実施。積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した令和4年4月より平成9年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた女性も定期接種対象とする HPV ワクチンキャッチアップ接種が開始。対象者に個別接種勧奨を実施。キャッチアップ接種が始まり、対象者が大幅に広がったことから、HPV ワクチン接種率は明記していない。

* 県外での接種を含む。

3) 予防接種県外医療機関等受診費用補助について

都合により、県内で定期予防接種を受けることができない場合に、滞在先の自治体または接種医療機関に接種の依頼を行い、接種後には接種費用に対する補助を行った。

県外医療機関等受診費用補助申請件数（件）

年 度	補助申請件数（件）
令和4年度	176
令和3年度	131
令和2年度	161

4) 任意予防接種費用助成について

(1) おたふくかぜ予防接種費用補助

1歳から4歳を対象に、一人につき1回、任意予防接種であるおたふくかぜワクチンの接種費用に対する補助を行った。

利用件数（件）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
県内医療機関実施（件）	2,099	1,876	2,400
県外接種費用補助申請（件）	4	3	2
合計（件）	2,103	1,879	2,402

(2) 特別の理由による任意予防接種費用補助金

平成29年度より、骨髄移植手術等の理由により、既に接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないため、再度予防接種が必要であると判断された者に対し、当該予防接種に要する費用に対する補助を行った。

利用状況

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用人数（人）	2	2	3
利用件数（件）	4	3	16

(3) ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種費用補助金

HPV ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃した平成9年4月2日～平成17年4月1日までの間に生まれた女性であって、定期接種の対象年齢を過ぎてHPV ワクチン任意接種を受けたものについて、接種費用に対する補助を行った。（令和4年度から令和6年度まで）

利用状況

	令和4年度
利用人数（人）	41
利用件数（件）	102

4. 医療費助成

1) 未熟児養育医療（未熟児対策）

出生時体重 2,000g 以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行った。

	申請・給付件数
令和4年度	81
令和3年度	101
令和2年度	90

2) 自立支援医療（育成医療）

身体に障害や疾患があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度である。

受給資格の申請状況

	申請件数
令和4年度	36
令和3年度	54
令和2年度	61

3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、国が指定した 16 の疾患群に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度である。（三重県への経由事務）

年度末現在認定者数（人）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
総数	276	262	295
1 悪性新生物	40	38	42
2 慢性腎疾患	23	21	25
3 慢性呼吸器疾患	20	21	22
4 慢性心疾患	39	38	46
5 内分泌疾患	37	37	45
6 膠原病	9	5	6
7 糖尿病	16	16	20
8 先天性代謝異常	7	7	6
9 血液疾患	8	8	10
10 免疫疾患	2	2	3
11 神経・筋疾患	37	31	33
12 慢性消化器疾患	31	29	30
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	5	7	5
14 皮膚疾患	0	0	0
15 骨系統疾患群	2	2	2
16 脈管系疾患群	0	0	0

5. 母子保健統計

※厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用（全国・三重県の数値は、厚生労働省「人口動態統計」より）

※市の数値はすべて日本人と外国人の合計値

1) 出生の状況

(1) 出生数

	令和3年	令和2年	令和元年
出生数（人）（日本人のみ）	2,160	2,106	2,287
率（人口千対）	7.0	6.8	7.3
人口（10月1日現在）（人）	310,110	311,716	311,470
全体の出生数（外国人含む）	2,247	2,194	2,368

※人口動態調査に合わせて日本人の人数を計上

(2) 低出生体重児出生数

(人)

		令和3年	令和2年	令和元年
低出生体重児数（2,500g未満）		208	209	211
率（出生百対）		9.3	9.5	8.9
参考	三重県（日本人のみ）（率）	9.4	8.7	9.3
	全国（日本人のみ）（率）	9.4	9.2	9.4

(3) 極低出生体重児出生数

(人)

		令和3年	令和2年	令和元年
極低出生体重児数（1,500g未満）		18	24	17
率（出生百対）		0.80	1.09	0.72
参考	全国（日本人のみ）（率）	0.75	0.70	0.75

(4) 多胎児出生の状況（多胎児出生時体重）

(人)

出生時体重	令和3年	令和2年	令和元年
1,000g未満	2	0	2
1,000g-1,500g未満	2	4	0
1,500g-2,000g未満	9	10	12
2,000g-2,500g未満	19	19	28
2,500g-3,000g未満	7	5	15
3,000g以上	3	0	3
計	42	38	60

(5) 多胎児出生時の母親の年齢 (人)

年齢	令和3年	令和2年	令和元年
20 - 24 歳	1	1	3
25 - 29 歳	5	3	8
30 - 34 歳	11	5	11
35 - 39 歳	3	7	7
40 歳以上	1	2	2
計	21	18	31

2) 妊産婦死亡数

		令和3年	令和2年	令和元年
妊産婦死亡数 (人)		1	0	0
出 産 数 (人)		2,302	2,234	2,423
率 (出産 10 万対)		43.4	0.0	0.0
参 考	三重県 (日本人のみ) (率)	8.9	0.0	0.0
	全国 (日本人のみ) (率)	2.5	2.7	3.3

3) 死産数

		令和3年	令和2年	令和元年
死産数	自然死産数	25	18	27
	人工死産数	30	22	28
	総数	55	40	55
出 産 数		2,302	2,234	2,423
率 (出産千対)		23.9	17.9	22.7
参 考	三重県 (日本人のみ) (率)	19.7	18.6	20.0
	全国 (日本人のみ) (率)	20.1	20.1	22.0

4) 新生児死亡数

		令和3年	令和2年	令和元年
新生児死亡数 (人)		3	2	0
出 生 数 (人)		2,247	2,194	2,368
率 (出生千対)		1.3	0.9	0.0
参 考	三重県 (日本人のみ) (率)	0.9	1.3	0.3
	全国 (日本人のみ) (率)	0.8	0.8	0.9

5) 乳児死亡数

		令和3年	令和元2年	令和元年
乳児死亡数(人)		6	3	3
出生数(人)		2,247	2,194	2,368
率(出生千対)		2.7	1.4	1.3
参考	三重県(日本人のみ)(率)	1.6	2.4	1.4
	全国(日本人のみ)(率)	1.7	1.8	1.9

6) 1～4歳の死亡

		令和3年	令和2年	令和元年
1～4歳の死亡数		0	1	1
1～4歳人口(10月1日現在)		9,396	9,670	9,888
率(人口10万対)		0.0	10.3	10.1
参考	全国(日本人のみ)(率)	12.3	12.8	17.2

7) 不慮の事故による死亡

(1) 乳児

		令和3年	令和元2年	令和元年
不慮の事故による死亡数(0歳)		0	0	0
出生数		2,247	2,194	2,368
率(人口10万対)		0.0	0	0
参考	全国(日本人のみ)(率)	7.5	6.9	8.7

(2) 1～4歳

		令和3年	令和2年	令和元年
不慮の事故による死亡数(1～4歳)		0	0	1
1～4歳人口(10月1日現在)		9,396	9,670	9,888
率(人口10万対)		0.0	0.0	10.1
参考	全国(日本人のみ)(率)	1.4	1.6	1.9

Ⅷ. 保健所内

1. 学生実習

地域保健活動の中核として、保健・医療・福祉分野に従事する人材育成のため実習受け入れを行った。

学校名	実習生数	実習期間	実習内容
三重大学医学部（医学生及び看護学生）	7人	9月28日	「さろん de 志氏我野」での参加者、運営者へのインタビュー
名古屋文理大学（管理栄養士）	2人	6月13日～6月17日	保健所業務の説明、いきいき栄養教室見学、1歳6ヶ月児・3歳児健診見学、乳幼児食教室見学
名古屋学芸大学（管理栄養士）	2人		
四日市看護医療大学	計173人	1) 4年生：50人 令和4年6月22日～10月7日 （10グループに分かれ、学内実習を含む延べ各8日間） 2) 2年生：123人 令和4年8月29日～30日 令和4年9月5日～6日 （4グループに分かれ、各1日） 3) 2年生：123人 令和4年6月20日	1) 集中講義、各保健事業の見学、健康教育の実施等 2) 講義 3) 校内講義 地域看護活動の実際（四日市市の保健師活動の実際）
三重県立看護大学	計4人	3年生 令和5年2月13日～3月3日 （12日間）	各保健事業の見学、健康教育の実施等
四日市医師会看護専門学校	計41名	3年生 令和4年4月27日	講義
ユマニテク看護助産専門学校	計6名	令和4年7月21日～22日（2名） 令和4年7月25日～26日（2名） 令和4年7月28日～29日（2名）	各保健事業の見学等
三重県立公衆衛生学院（歯科衛生士）	新型コロナウイルス感染症の影響により、各校にて学内実習に変更となった。		

2. 「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供する。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで実施した。

実施日	令和4年8月3日(水)
参加高校数	42校(うち、市内7校)
参加人数	627人(うち、市内131人)

保健衛生事業の概要

令和4年度実施
(令和5年度版)

編集・発行

四日市市 健康福祉部 保健企画課

四日市市諏訪町2番2号

電話 (059) 354-8281

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp>